

圍

碁定石集

一

79

689

/



別始母世數十式を以て是は實推今世を用ゆる所乃
 湯の元石といふものも是次は四手篇基張板を
 著手石并如信なる者嘗いひの事あり又此の四
 十篇元石の徳も是也誠なる所は物玉以極の八其
 山必輝といふもの如き石三よりして其徳眞愚かき
 自の元海記もよ何れも別吾師五代目名人本因
 房さ智は概也と申思ふ此石は四手より上の石三
 たりは五手より上と八井目より上といふも世四川の
 石三を知りて是を以て用ゆる時大や遠き所故
 あり下流なる今もなき基三の中より四川の
 石三と云ふ川の石三を採入又他石を採入は出
 流れも是を以て早基張の石三を採まはるべきなり

多なる里流の石三なりといふゆへに石三を以て是は湯の
 石三といふものなりといふなりと申すも其流を
 採入るは別け書を採集する所の意なりといふ
 一局機と題する二の棋乃石三一巻申是を
 採入るは一何某は採入るは流石ともいふ
 石母を採入るは流石ともいふなりと流石二の石三を採入
 時先の基も又二の川石三を採入るは流石ともいふ
 石三を用ゆるは流石といふなりと申すも又流石といふ
 田中流石は流石と申すは流石なり
 壬子流石

壬子流石

碁の手お乃り

一 碁の手おといふ位なり九段ありては固き名人といふ人
上手は百歩の手おすい上手の手おといふ何れも夫を
下下といふかいは川の手真りといふ也

一 名人といふは位九段以上名人上手は百歩の手おとい
ふは位八段なり是を世に名人といふ事也
よき事とては川のあり上手といふは位七段あるを
いふも愈々棋の手おると云ふ事とて是むは名人
といふての手おとも川とて是むは八段あり
あの上の手おといふての手おとも川とて是むは
なりといふての手おともといふは何段といふは
然るても多し初段二段と段とも川といふ也

なれば是よりいふ事安らうあはれといふ事相一
彼ら手おといふての手おともは段手おといふ
川初段といふも是也初段あり名人といふは定
四段の手おなり名人は上手より先勝し扱あり
あは又上手はたふしは二河ありては是と
二河といふ手おといふはは流をさるる二河といふ
もは是利是をいふて定二河は之れ先二河
四段定先ハ五段先より先ハ六段ありては是
手お一級ありハ是なりて是なりては是なり

碁の利ゆりの事

立 提 約 懸 沖 割 撲

碁經

卷之二

三

碁系 碁 碁 碁

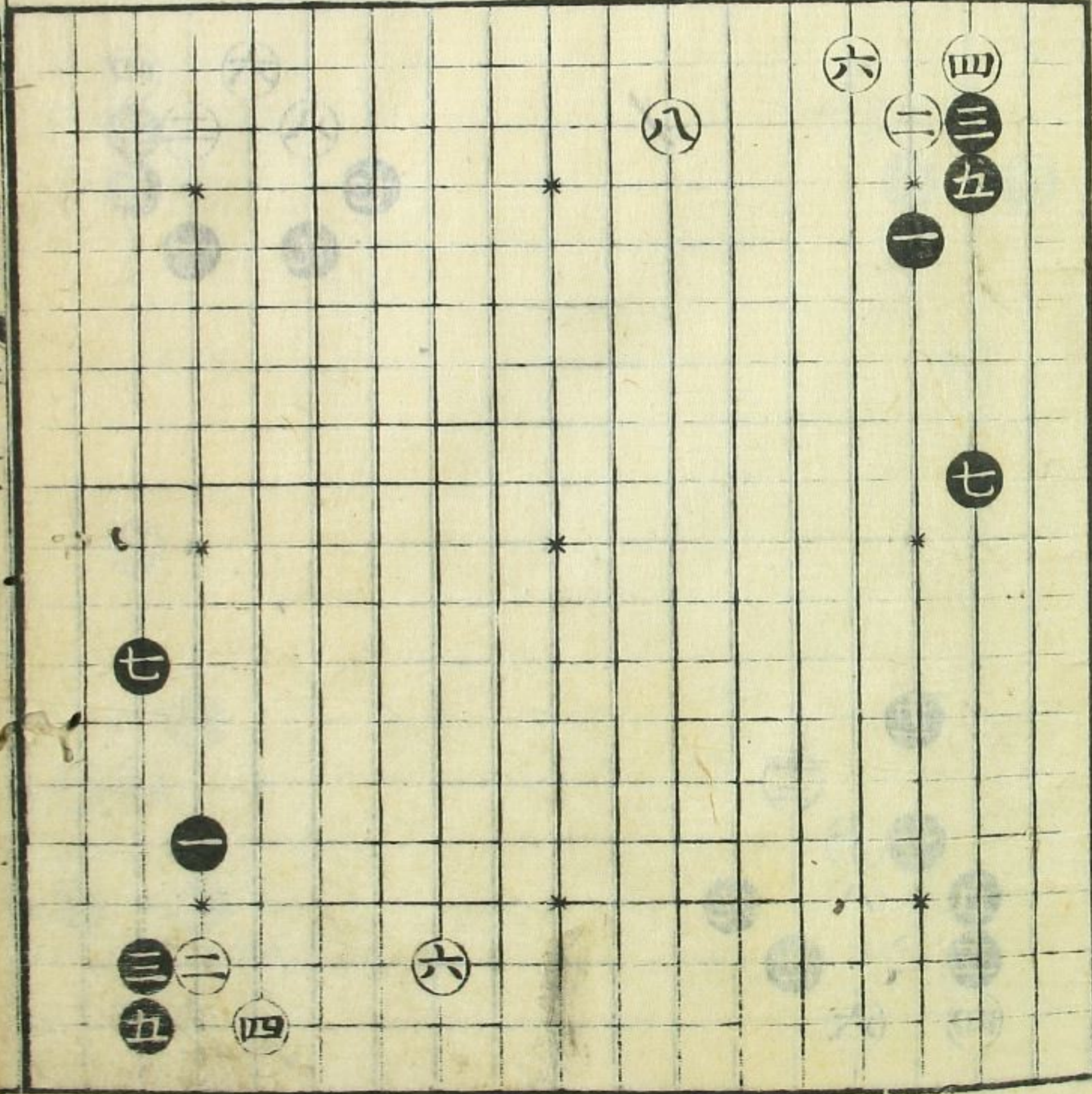
盤ワタル 打ナル 出イワル 觀ミル 劫クワ
 夾ハサム 點オカテ 征シキヤウ 逼セメル 飛トグ 尖オスム 綽オカケル 持セキ
 行イ 斜カク 走イマ 三花聚ハナサンモク 四花聚ハナシモク 五六七同イ
 角曲コウクツク 四シ

此方ニテ持碁ト云ハ碁ノ字ヲ用ユヘシ

先隅之定石之部

此角大目定
 石多クハ兩方
 トモ如此打事
 吉色々打カタ
 末ニ出之

此角四トコスム
 手多クハ不好
 處トコロ



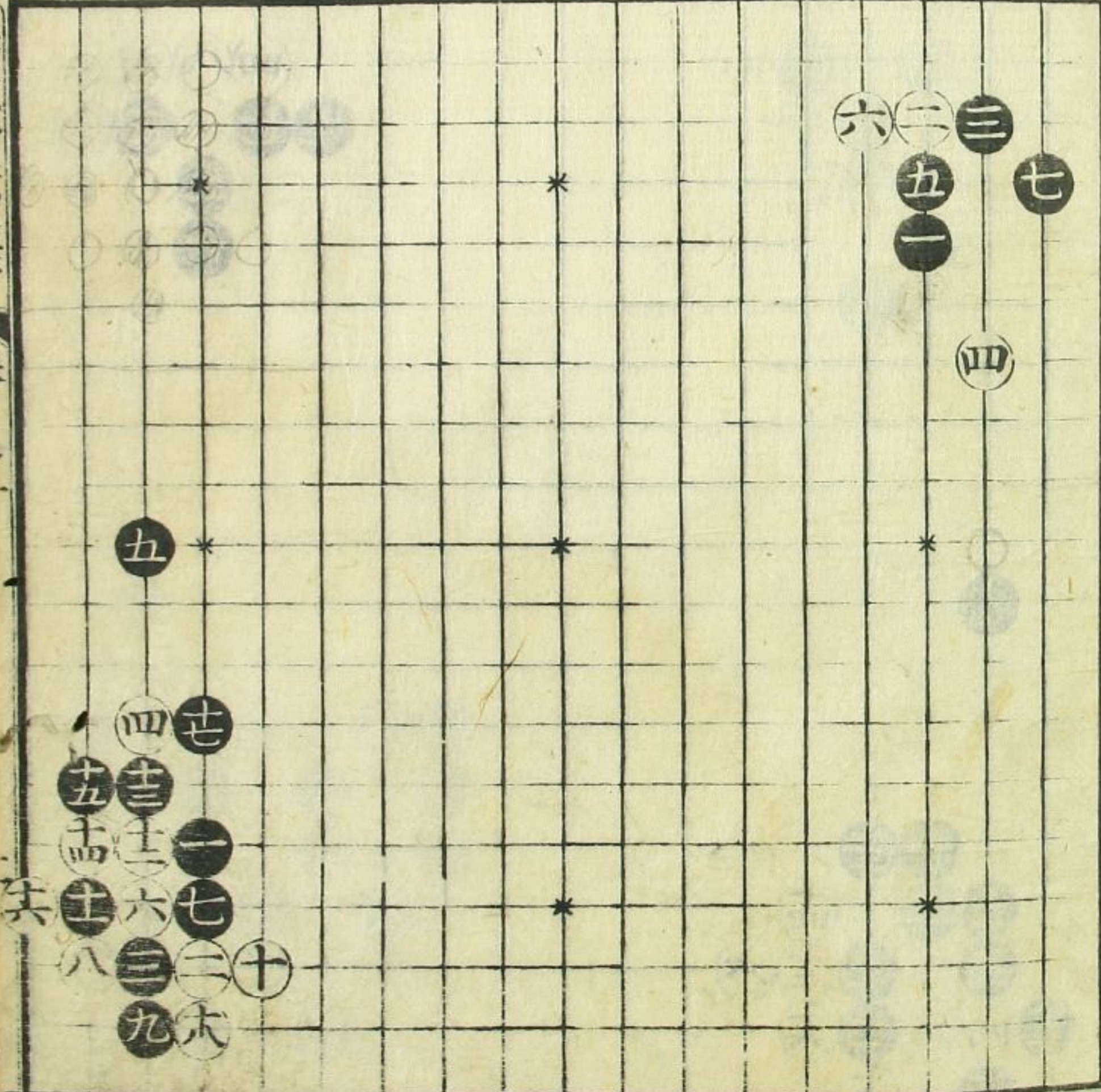
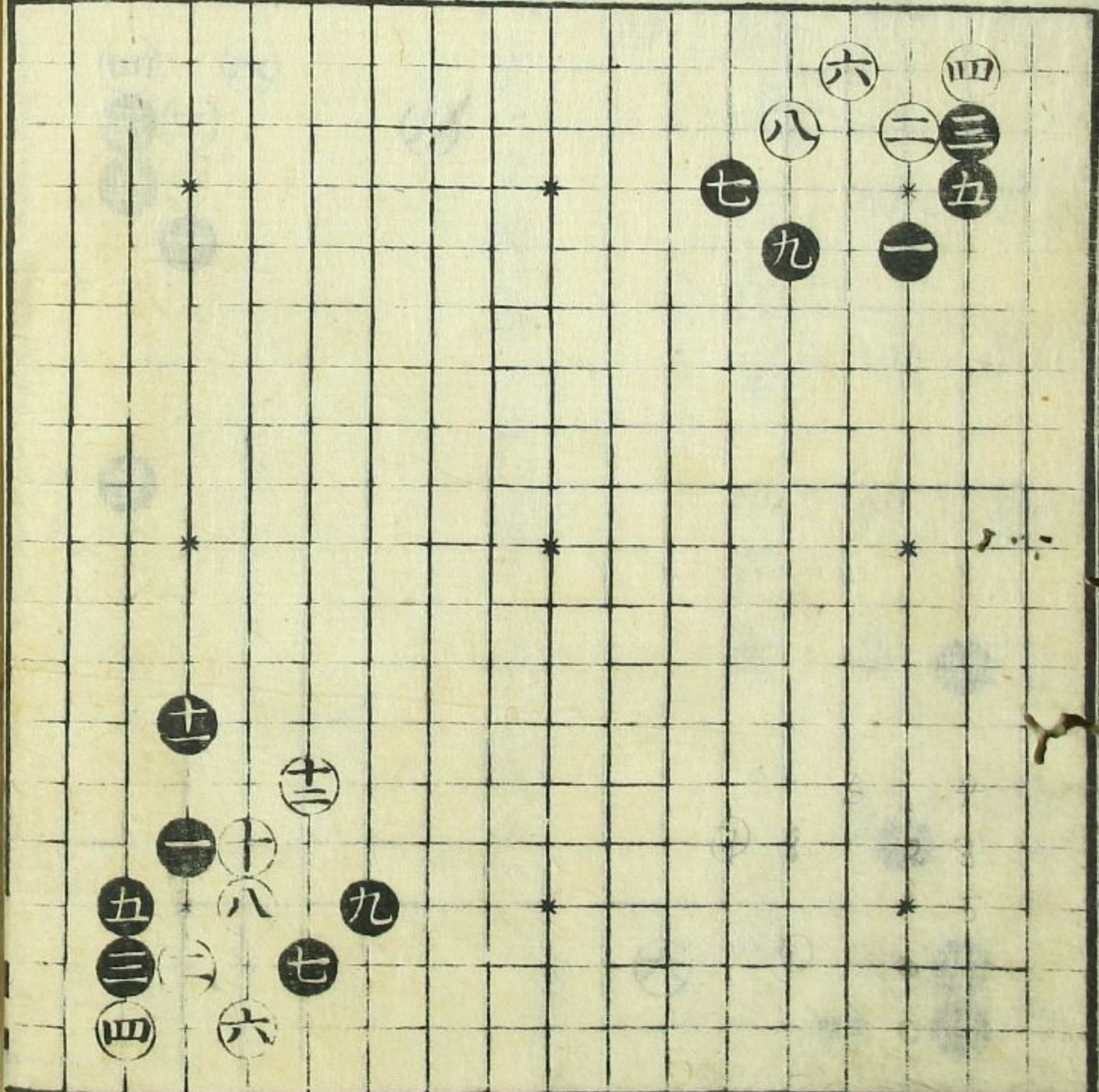
碁系 碁 碁 碁

此角七ト打
 モアリ黒位
 ヲトル石立ナリ
 所ニヨリ面白
 シ

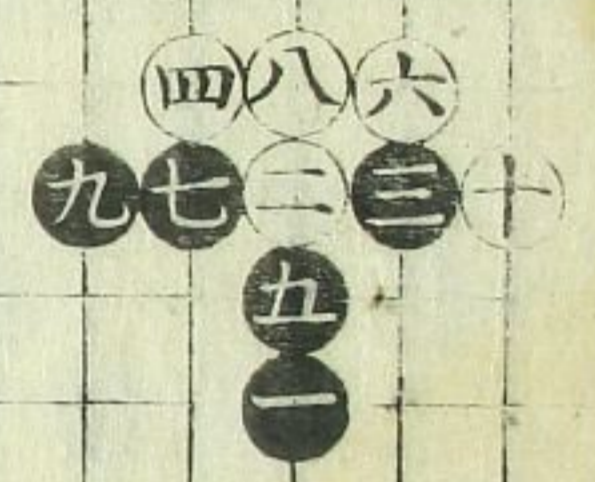
此角七ト打
 處ニヨリ白ヲ
 セル心持ニテ
 面白シ

此角三ト付ル
 トキ四トウツ
 事モアリ所
 ニヨルヘシ

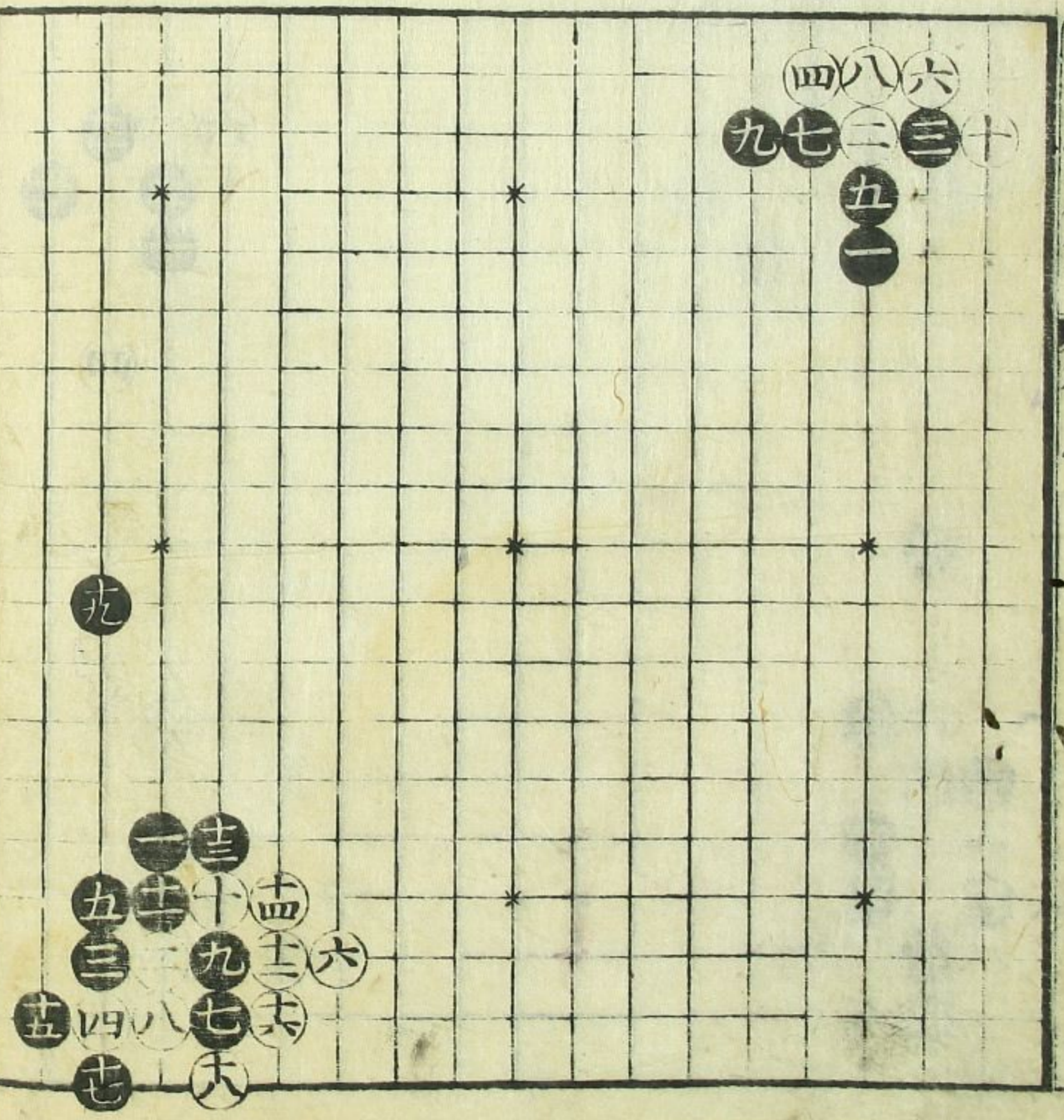
此角黒ヨリ
 五トカマハヌ
 事モアリ
 色々打カタ
 亦ニ出之



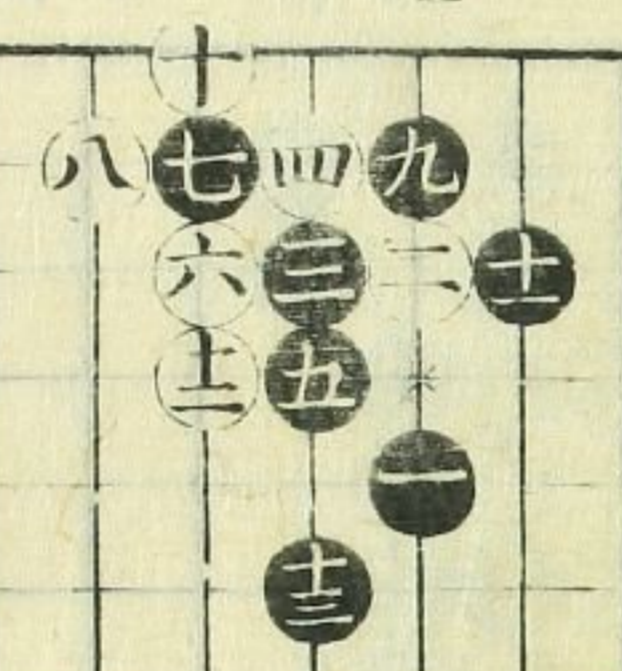
此角トコロニ
ヨリ如是打
コトモ有



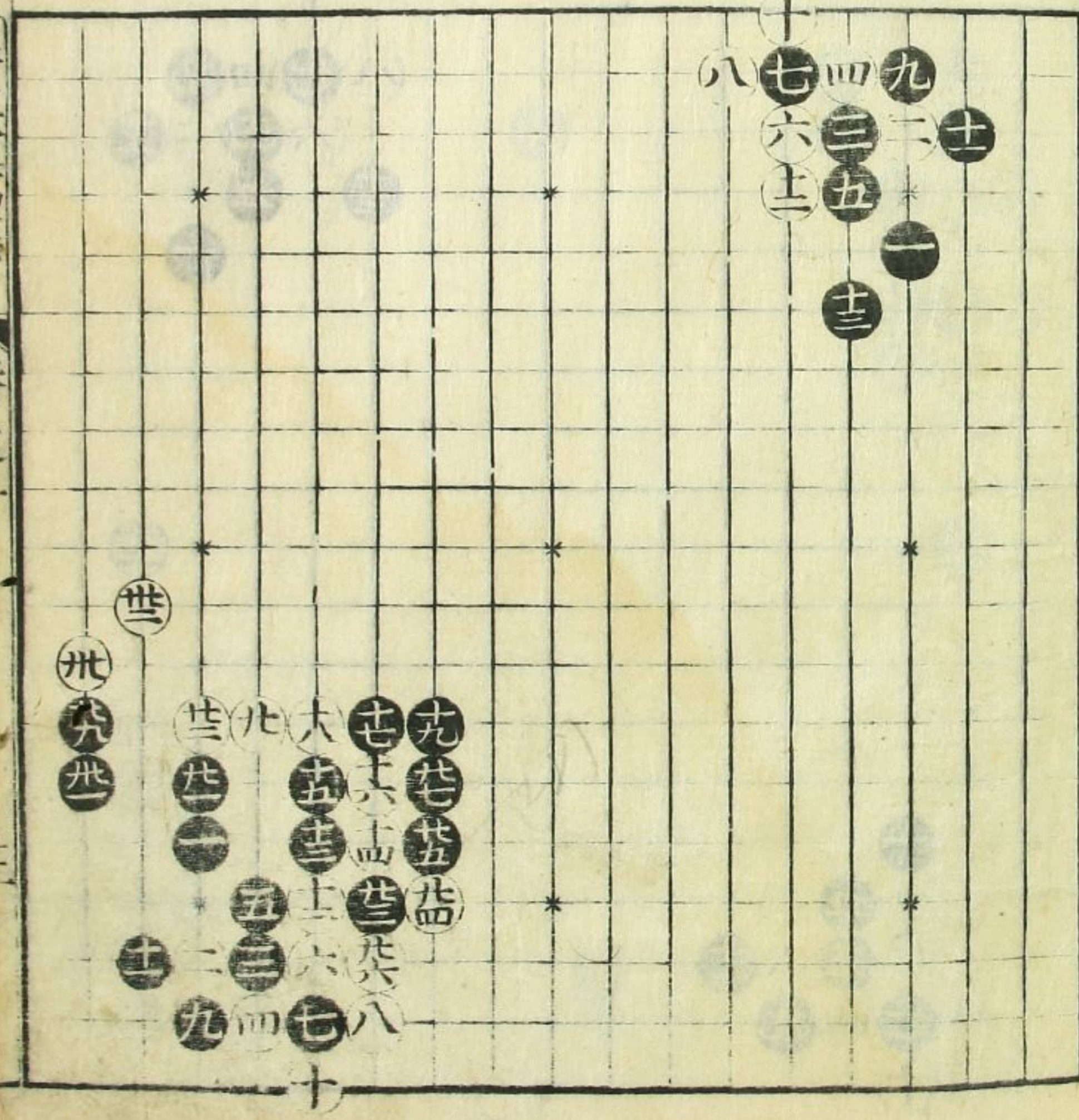
此角六ト二間
飛事モアリ
多ク不好



此角同位也
十三ノ手所ニ
ヨリ色々
打ヤウアリ
可考ノ事也

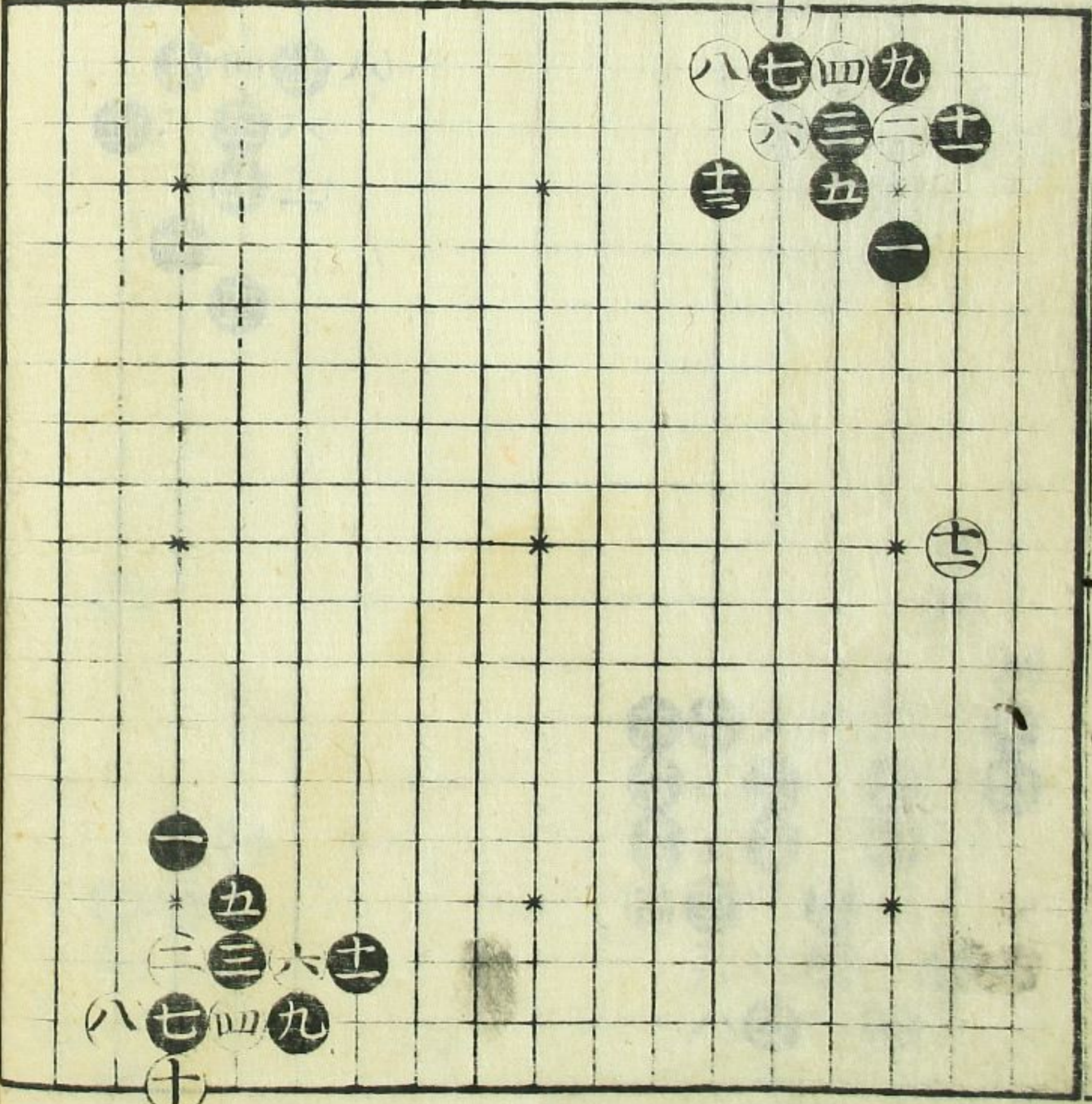


此角如此打
コトモ處ニ
ヨリ面白シ
サハツク



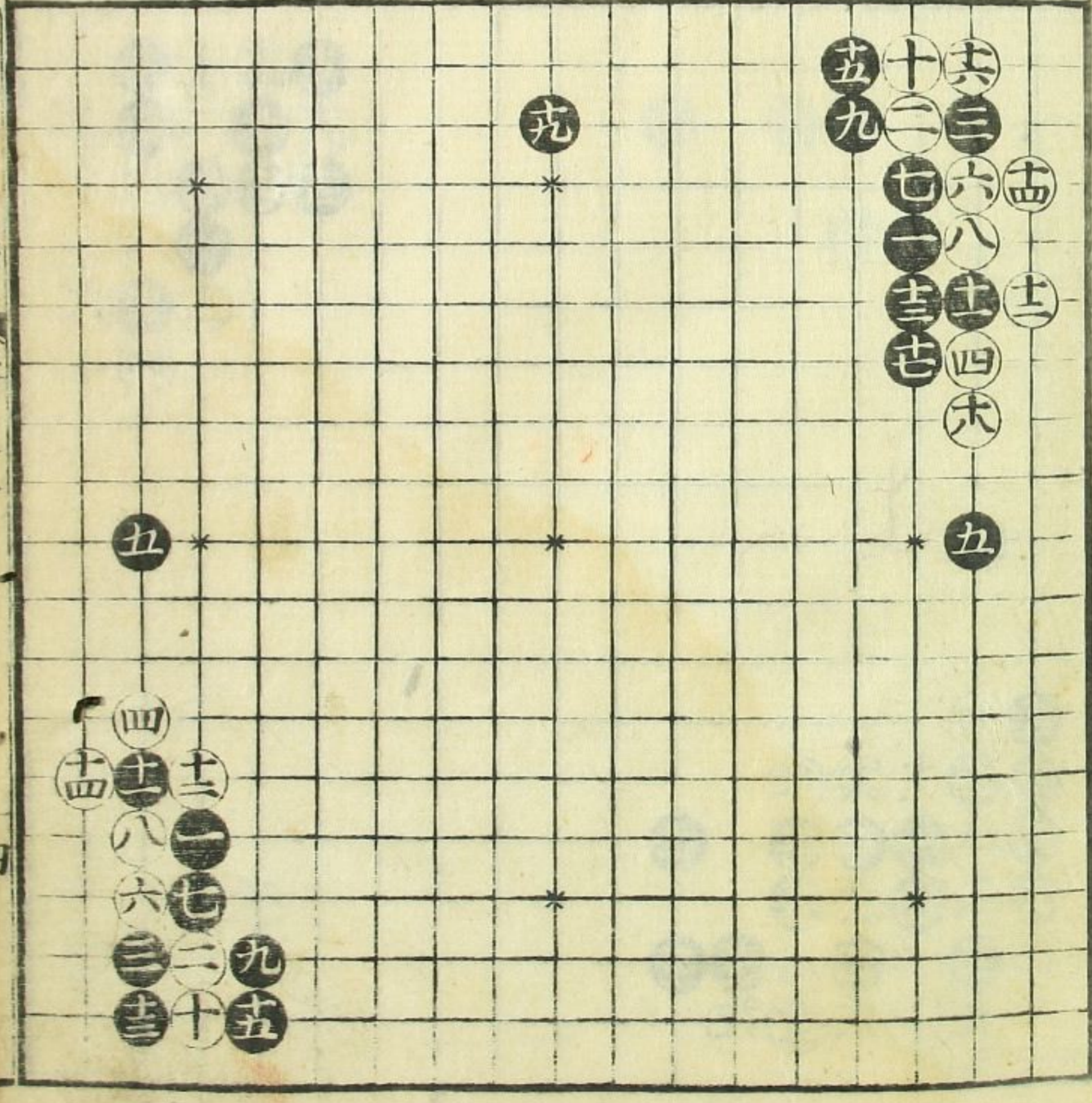
此角十二打
コトモ所ニ
ヨリ吉シ
黒ヨリモ
十三ト打車
ヨシ

此角常八黒
ソニナリ所ニ
ヨルヘシ



此角同位也
マツハ白不好
石立ナリ

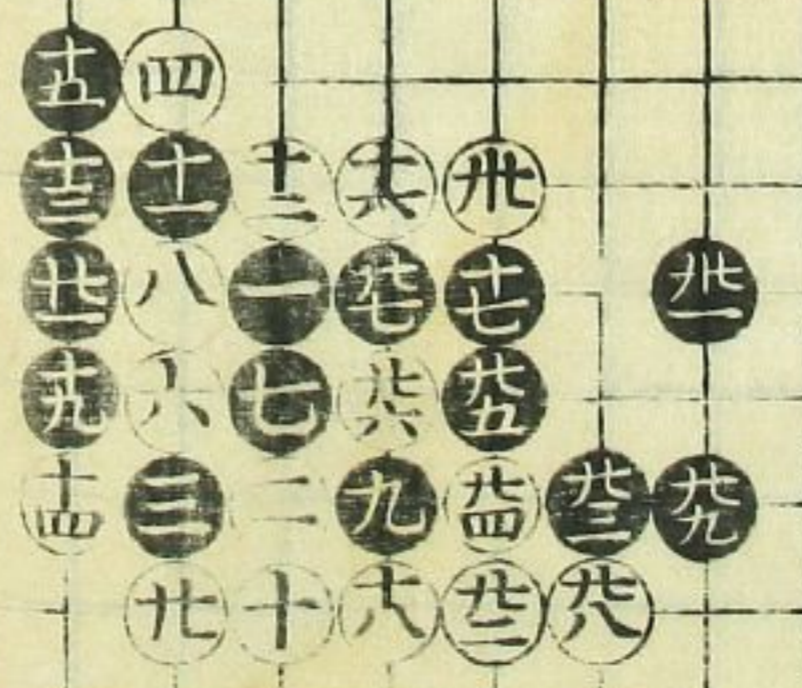
此角同位ニ
ト取手スヨシ
不面白



此角十四手
アシ大損
故印置

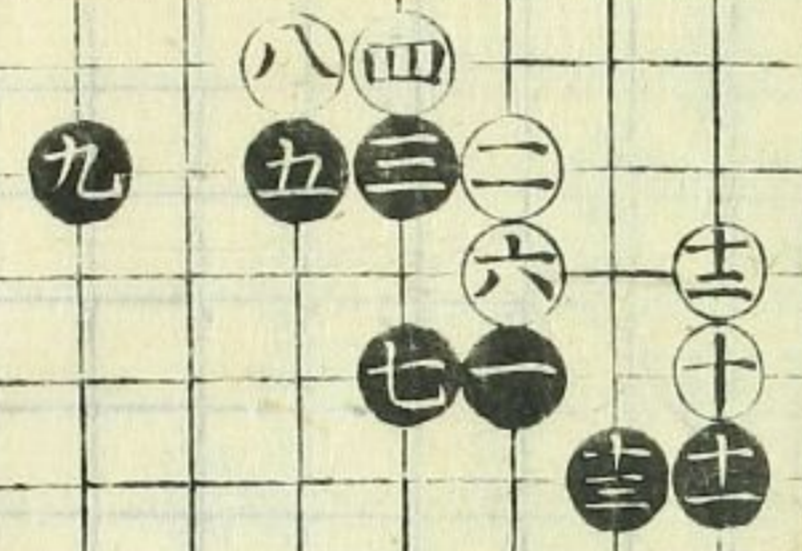
此角黒ノ方
面白シ

北下
ワク



此角所ニ寄
可打多クハ
不好ト也

此角六ト七
手多クウタ
ヌ也所ニヨ
ル



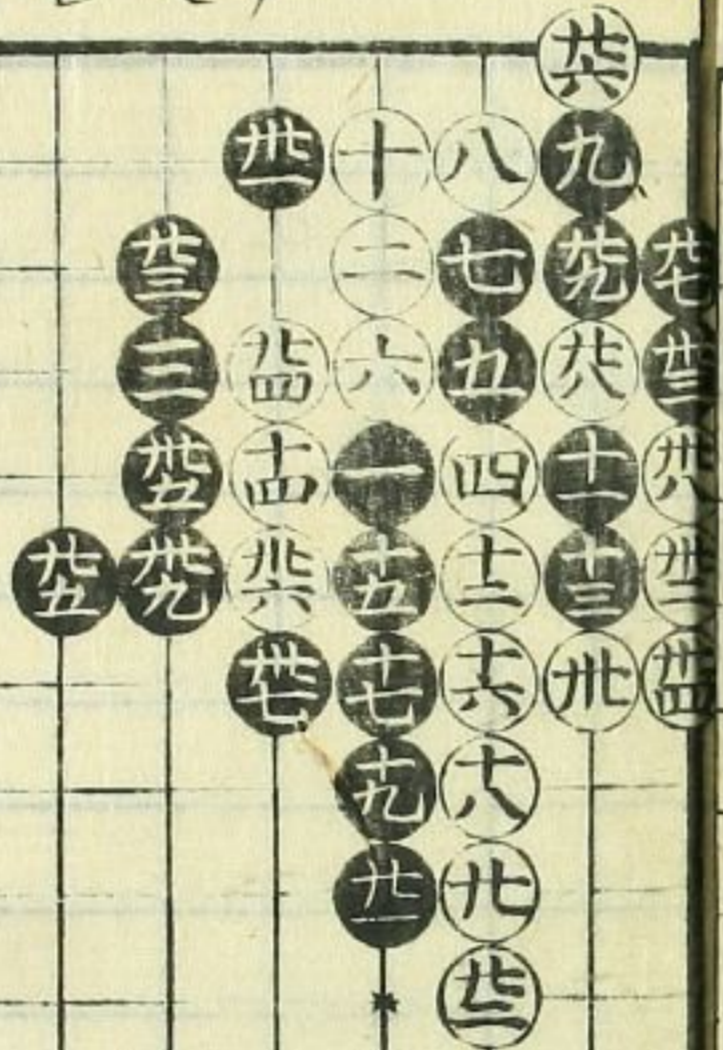
此スミ三手
多クハ不好
所ニヨル

此角黒不好
所ニ寄ヘシ

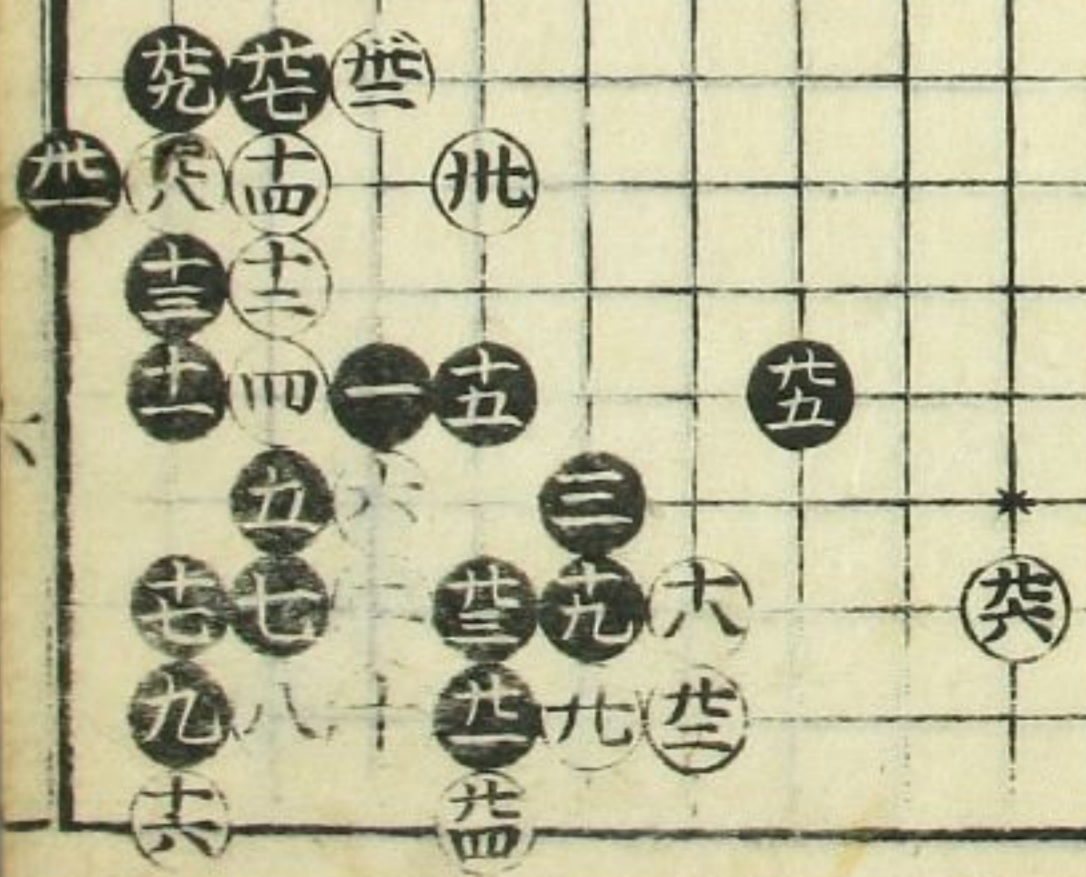


早トル
早下ル

此角多ハ黒ア
シ、係如是
ナ九時ハ白悪シ
十四トハ子出ス
故ナリ



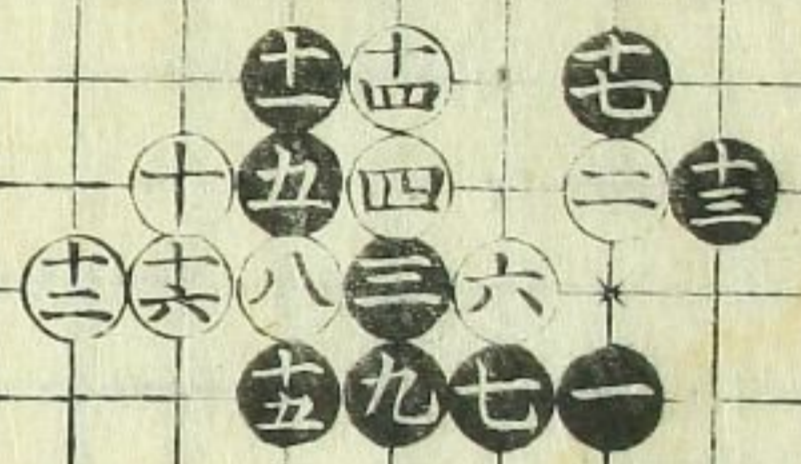
此角如是打
トキハ白位
ヨシ



碁譜定石集 卷之六 十一

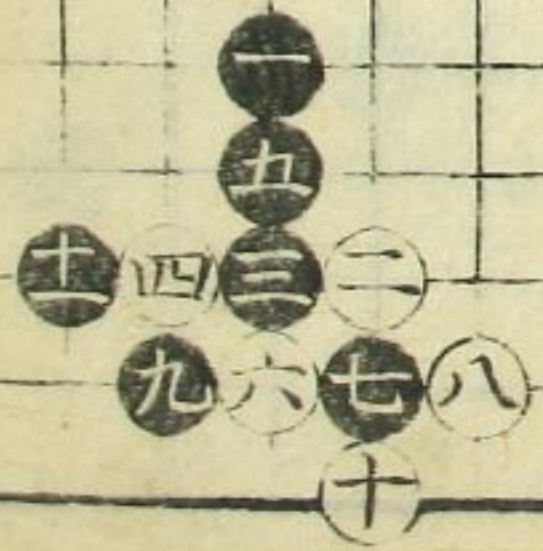
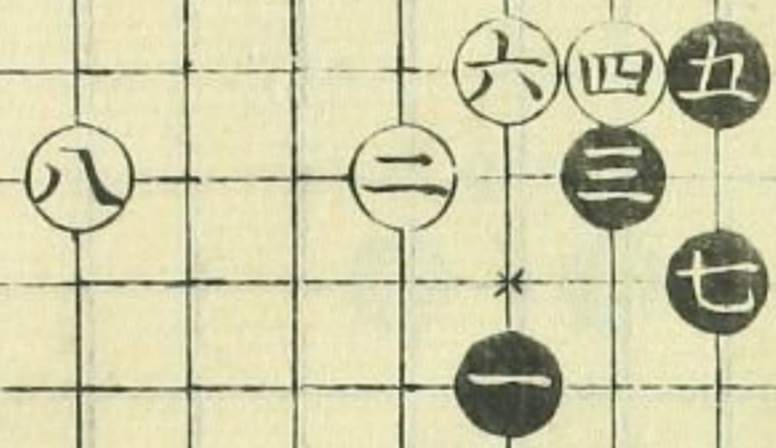
此スミ多クハ
白悪ニ所ニ
ヨルヘシ

此スニ同位
ナリ



此角多クハ
ニトウツコト
アニ、所ニヨル
ヘシ

此角三ト付ル
トキ四トハサム
手吉シ

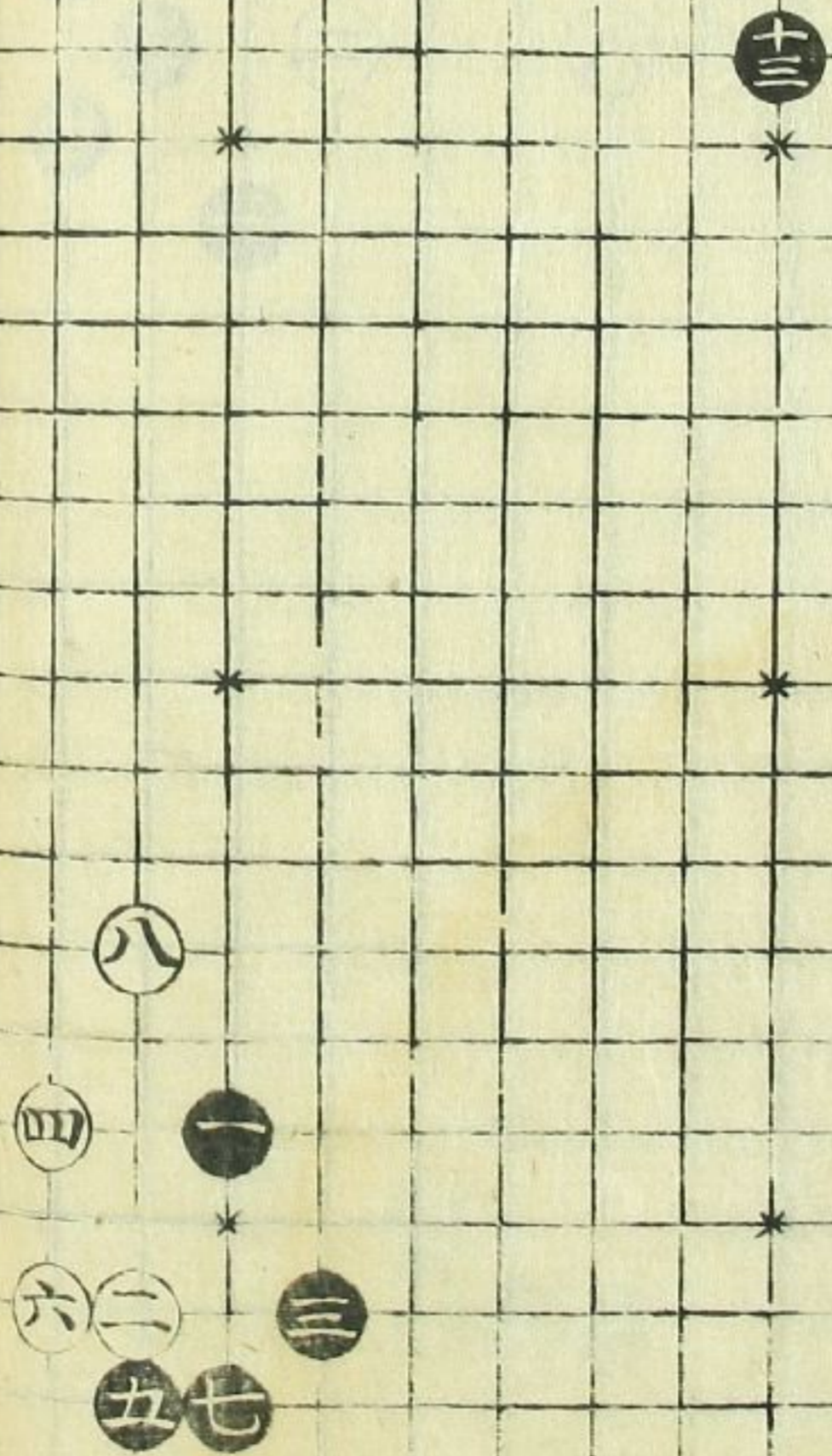


碁石集 卷之

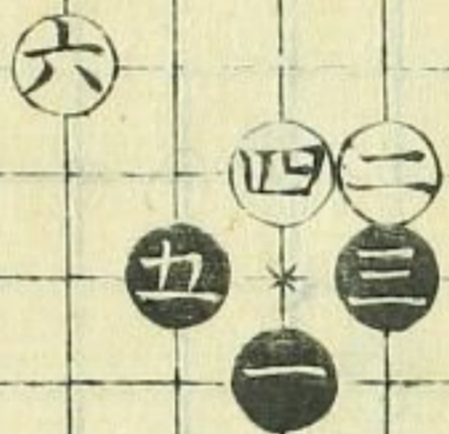
此角ニ下深ク
打フモアリ
所ニヨルヘシ



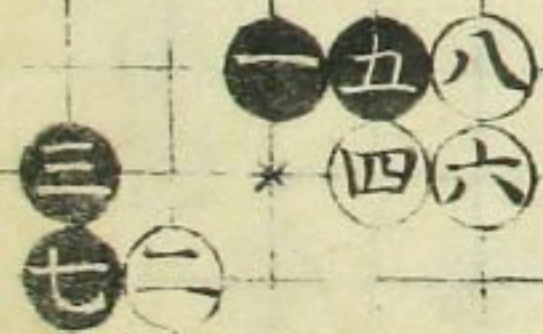
此角五ト付ル
トキ六ト立ツモ
所ニヨリ吉シ



此角三トツケ
ルモ處ニヨリ
吉シ



此角三ト桂馬
ニウツクモ有リ
處ニ奇ル



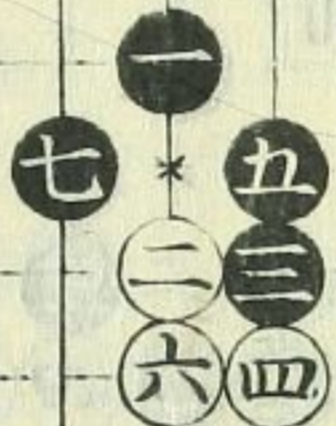
此角常ハ白
不好所ヨリ
打フモアリ兩
方トモニ如是
打フ多クハ吉



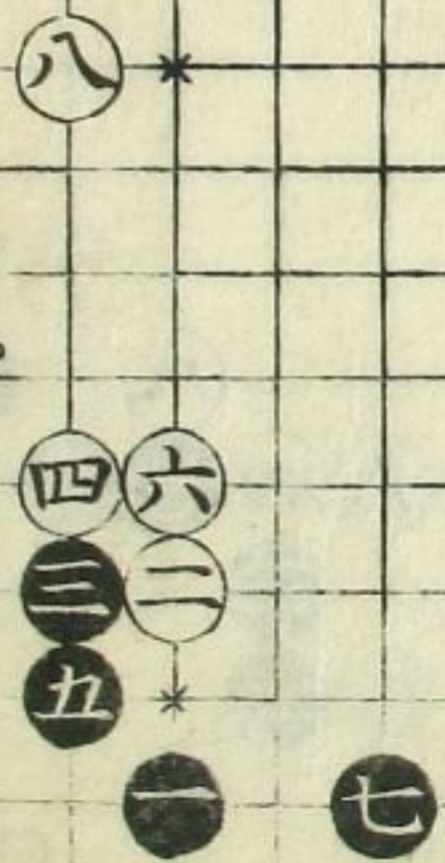
此角七ト付モ
所ニヨリ和ニ
テ面白シ



此角三ト下ヨリ
付ルモ有リ多
ハ上ヨリ付ル
吉シ



此角七ト一
間
飛事モアリ
可見合



△此角八ト出ル時
九トハ子九吉シ

□此角十ト打時
十一トコスム吉併
後損アリ隙ヲ
見合手ヲ可入
夏

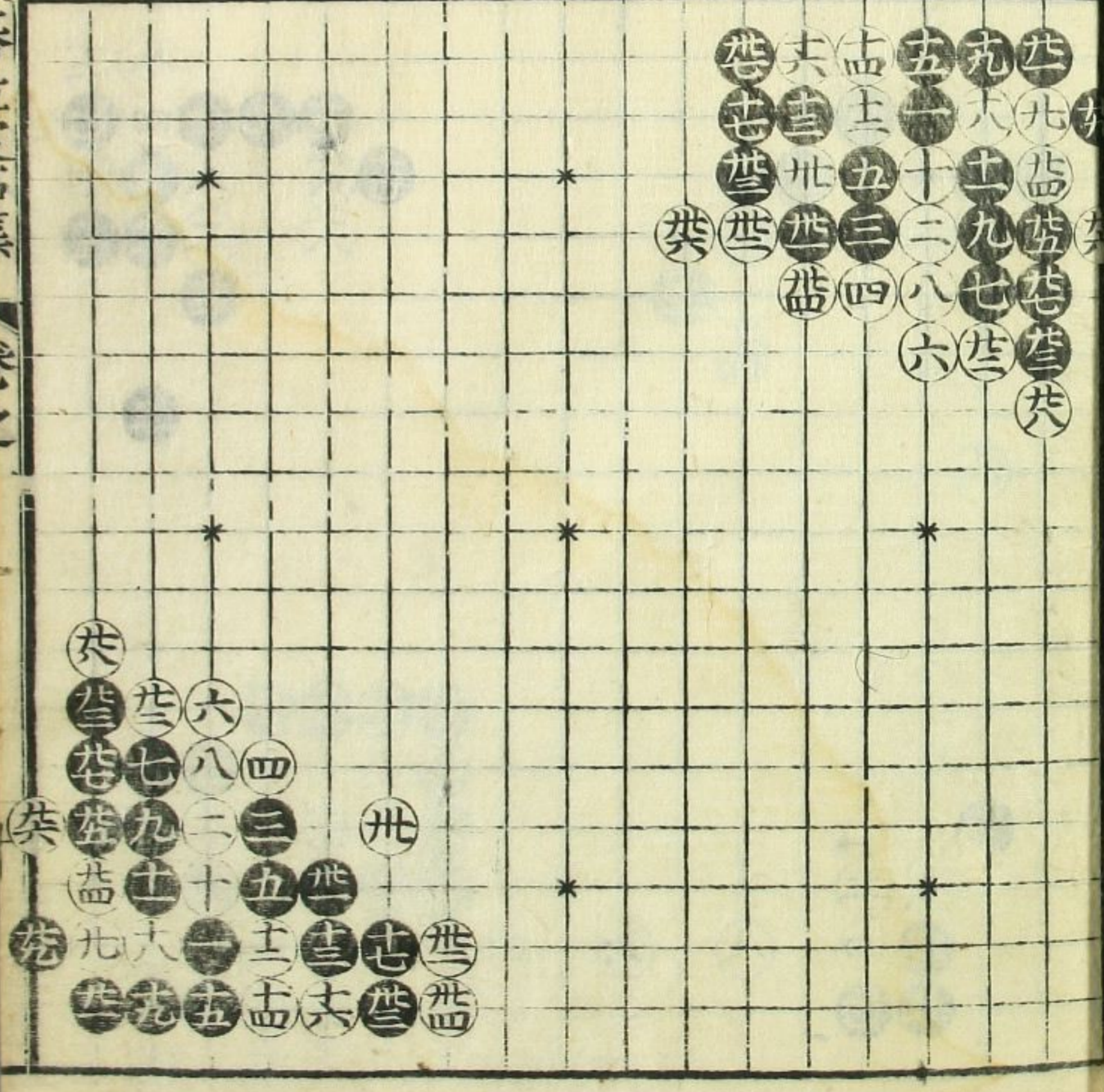
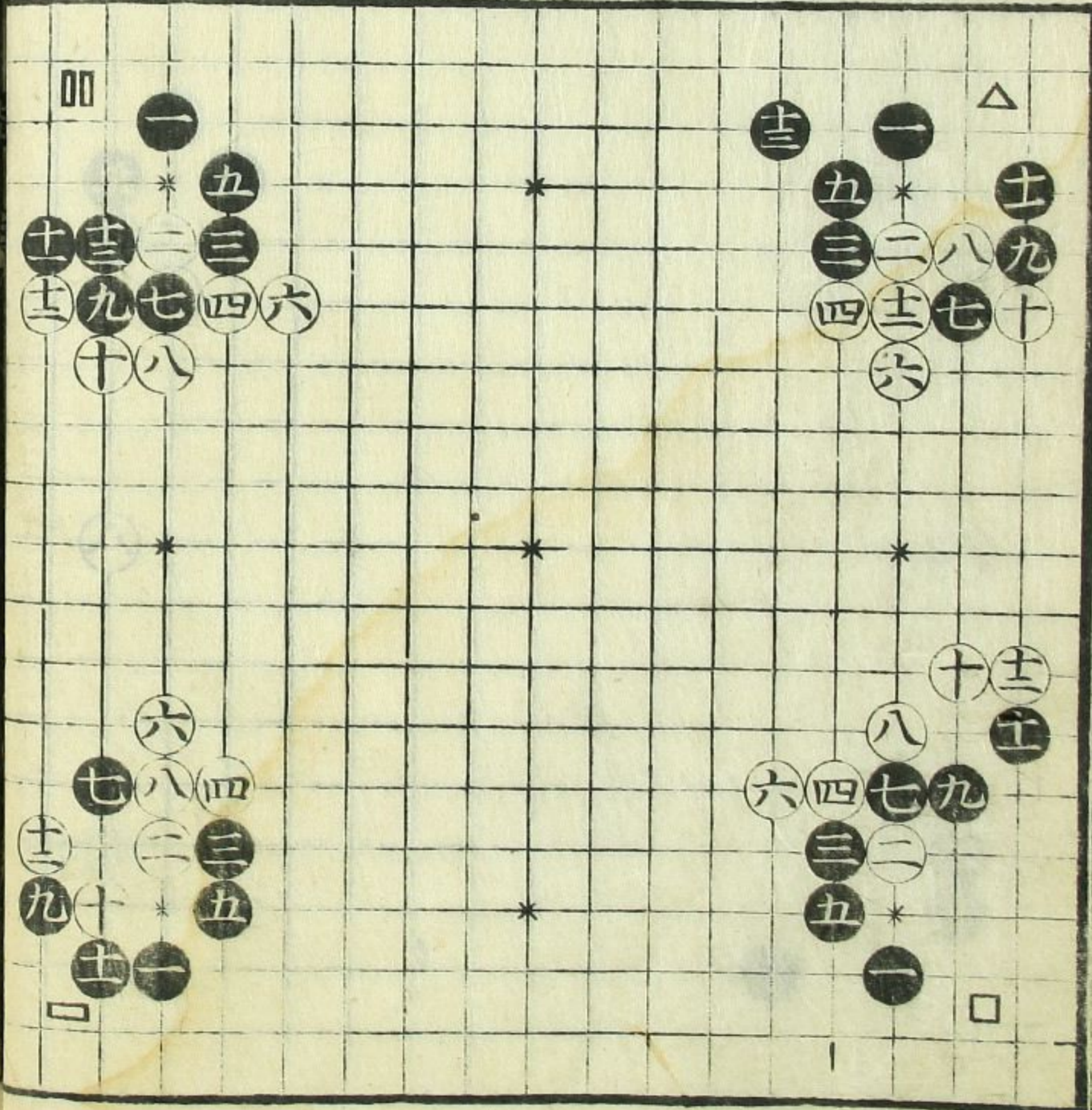
〇〇此角六ト出ル手
常ハアエ、所ニ
ヨルヘシ

〇此角九トハスシテ
打事モアリ

此角常ハ白
フナリ所ニ
ヨリ打事モ
アリ
廿五ト
ソク

此角如此モ
ウソコト也

碁ノ定石集 卷之十一



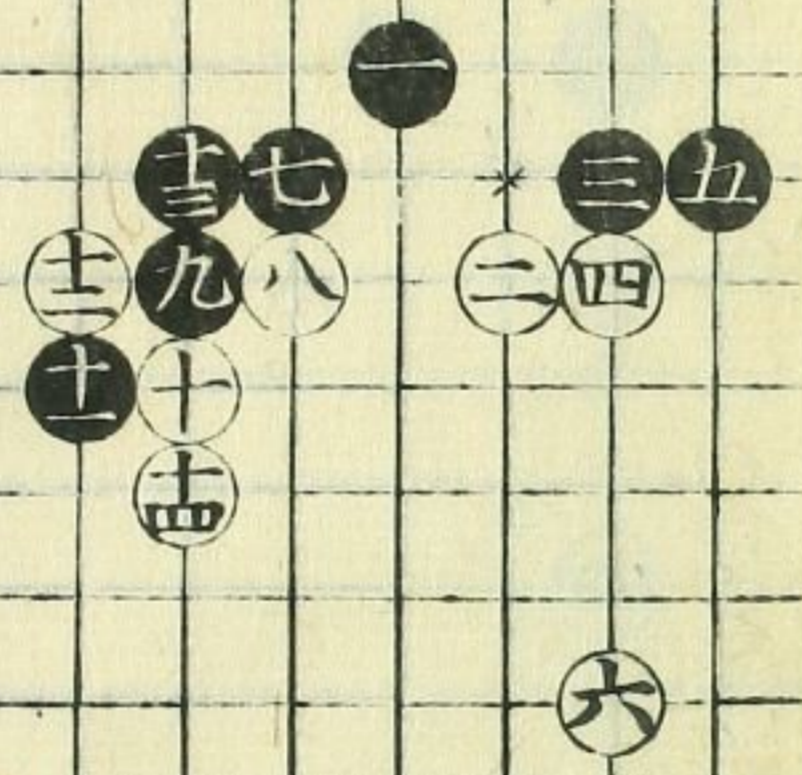
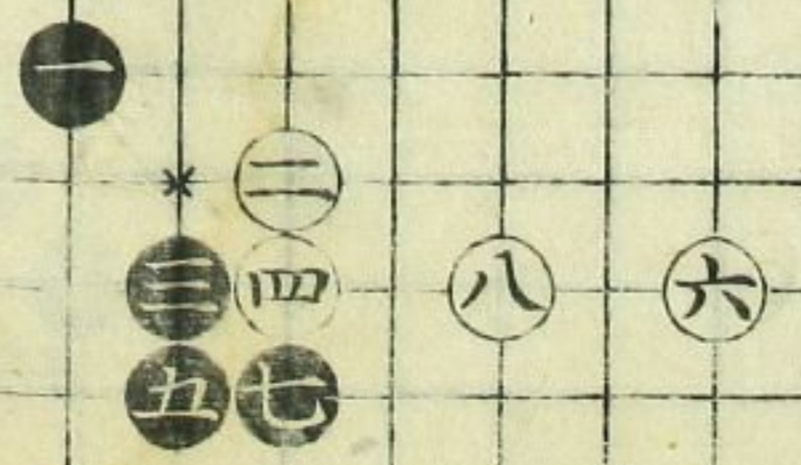
碁ノ定石集 卷之十一

此角黒面白
十七ノ手甚
吉シ

此角フスニ
定石同位也

此角七トコスム
トキ極メテハト
付ルニモアラス
見合可打

此角十トモ
トキ十一トイ
吉ニ白クライ
悪シ



碁石集 卷之三

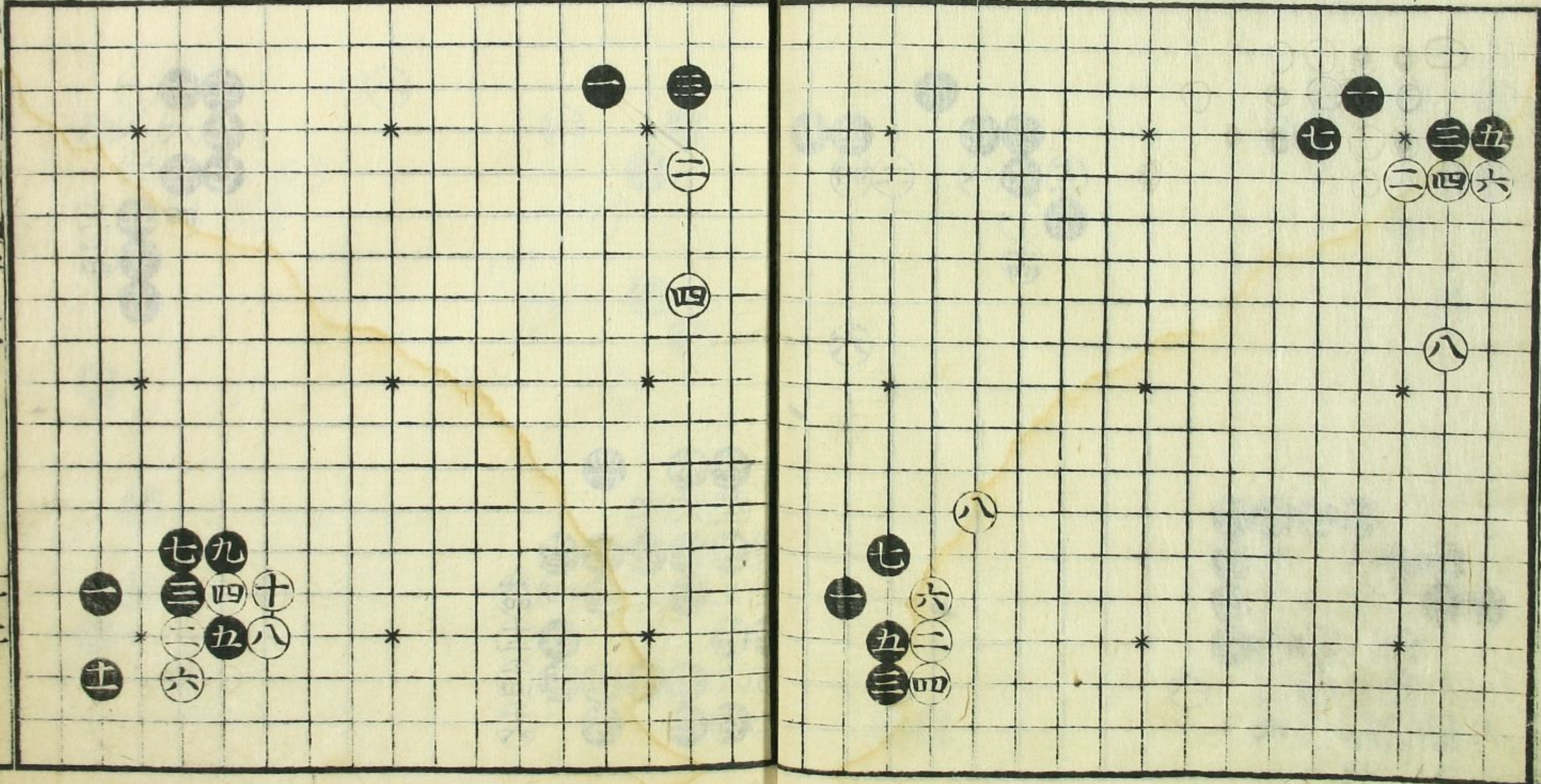
此角六ト押手
早キ時ハ石ク
シクセル事アリ
能時分見合
押ヘシ

此スニセトコスム
トキハノ桂馬必
可打交也

此角ニト打事
マツハ悪ニ所ニ
ヨルヘシ

此角處ニ寄
如是打コトモ
アリ

碁上流石集 卷之十一 十一



此角六トハ子コム
手多クハアシ、
所ニヨルヘシ



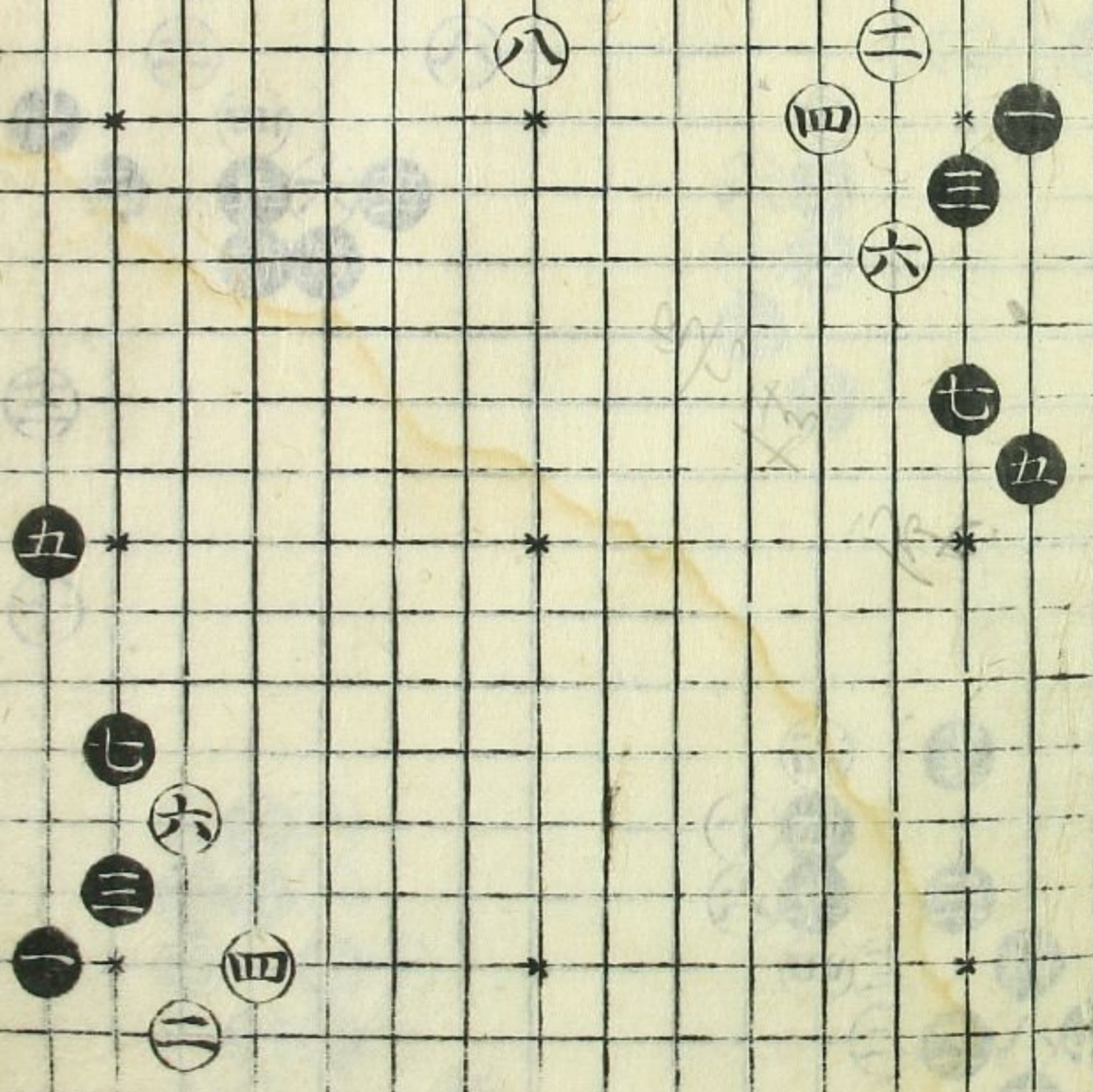
此角十二ノ手
無理ナリ字
ヤウ印置

此五ノ方
此六トル
此六ノ方



此角六ト打時
七ト請ル吉

此角五ト一間
廣キ時ハ七ト
可請



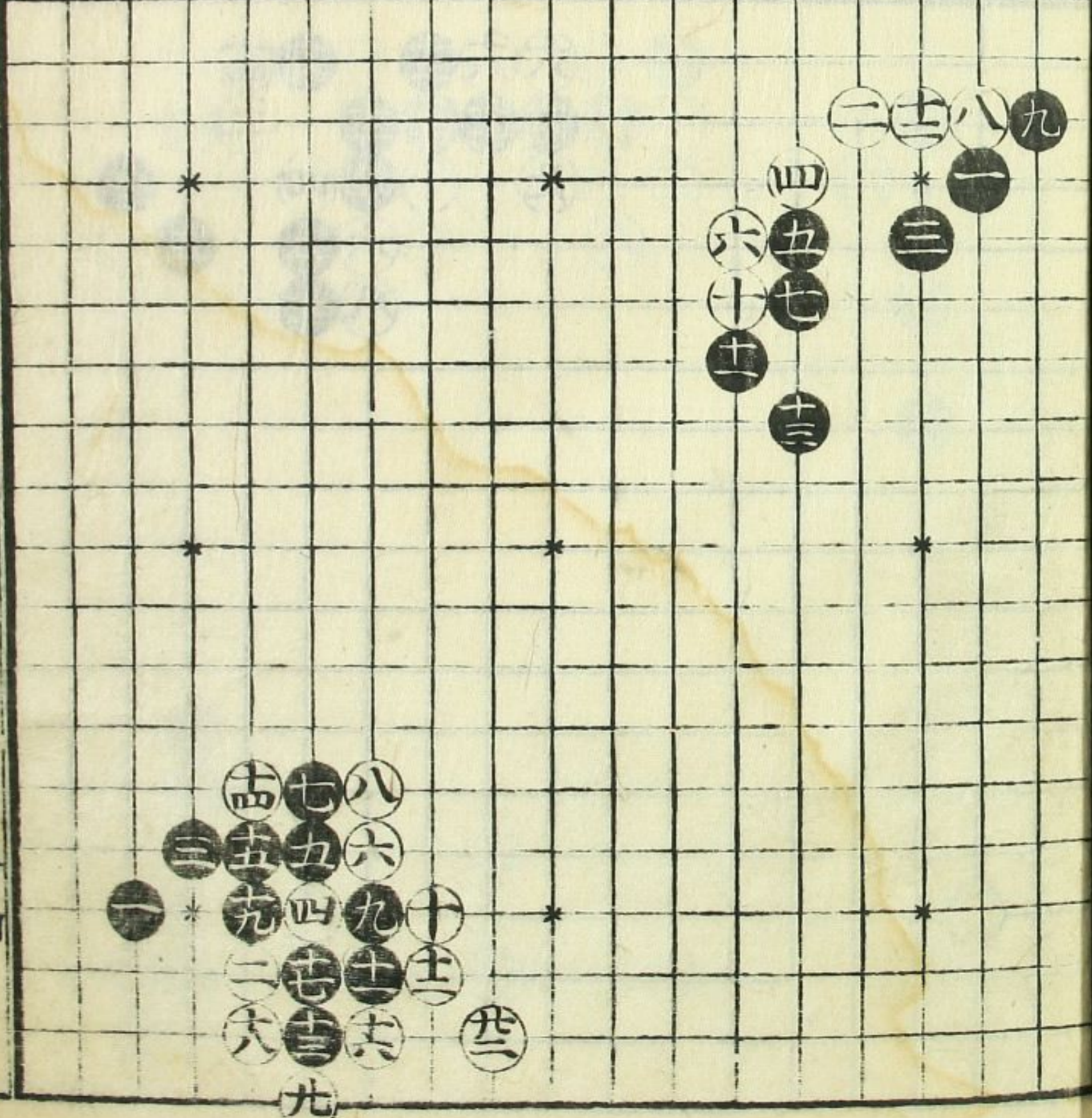
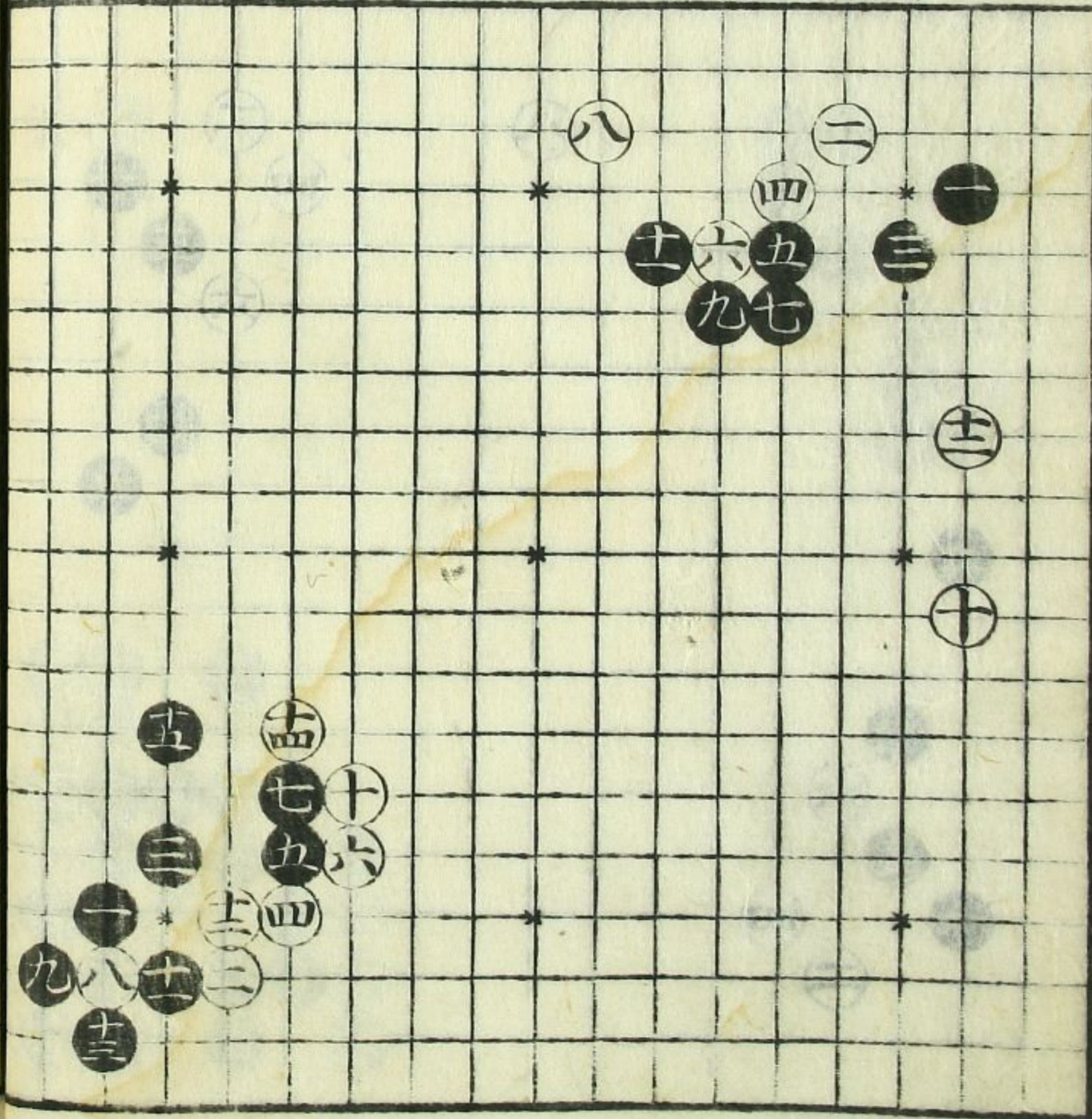
此角五ト打時
 シ千ヤウノ
 當リ無時ハ
 多クハ八ト打
 事モヨシ

此角ニキヤウ
 ア多リ無時ハ
 如是モ打也
 何レモ吉シ

此角十ト打モ
 吉シ所ノモ
 ヲウニ可寄

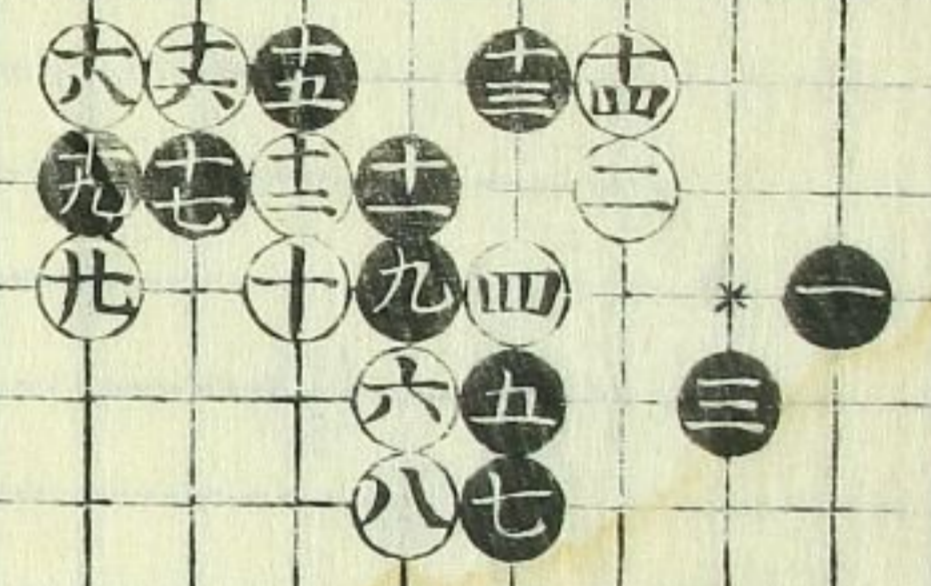
此角ニキヤウ
 ノア多リ無ト
 キハ八ト押ス
 ハ損也故ニ印
 置也
 サツク

碁正定石集 卷之

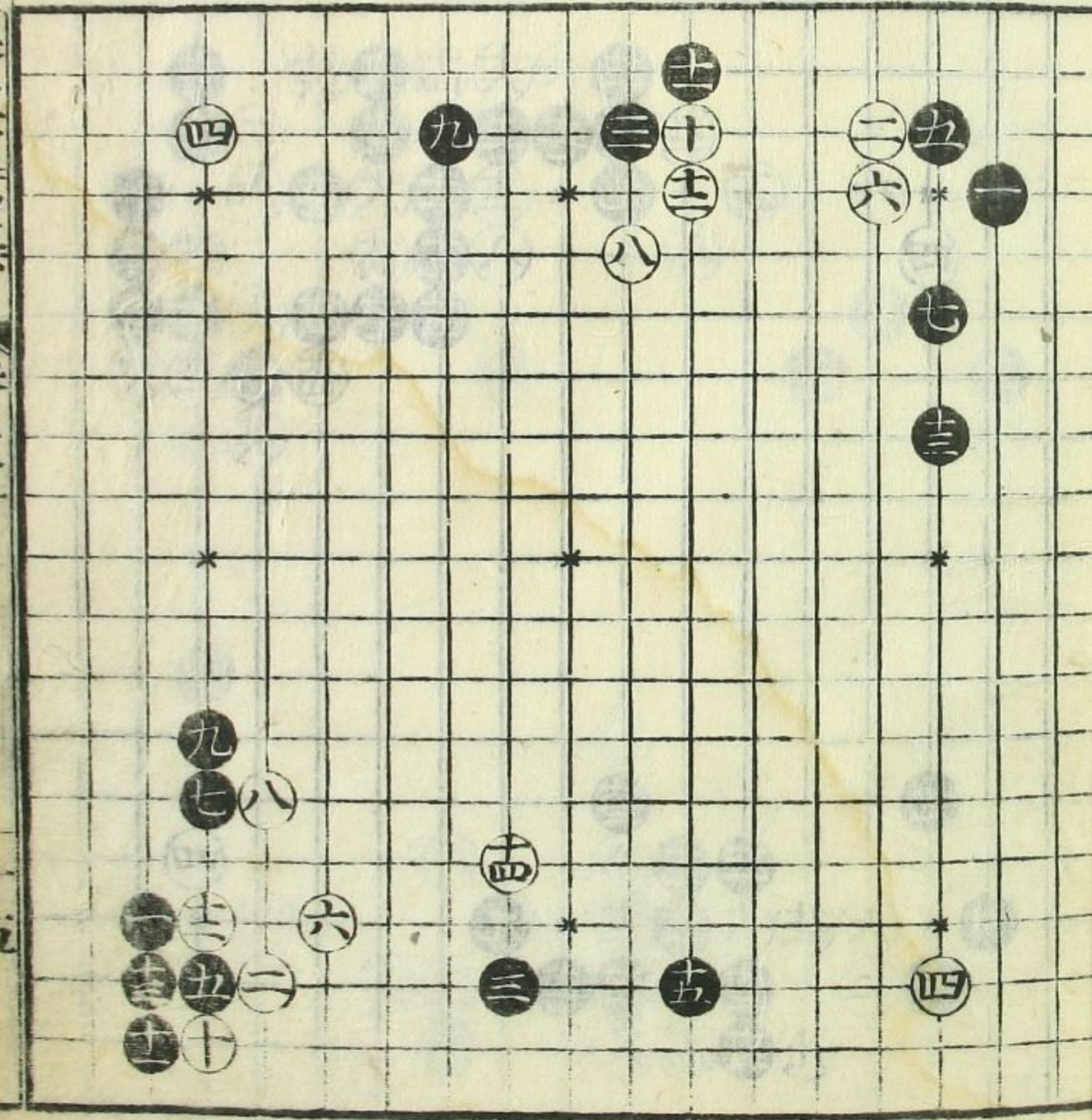


碁正定石集 卷之

此角印ノ
當リキヤウ
アタリ有時
九ト切アル
故ニ印置



此角三間挾定
石黒ヨリニ一校
時多クハ其座ヲ
不打外ヲ打
口傳也併ニヨ
ニ寄其所ヲ
直ニ打トモ有
委ニク未ニ出シ
置尚口傳更
多シ



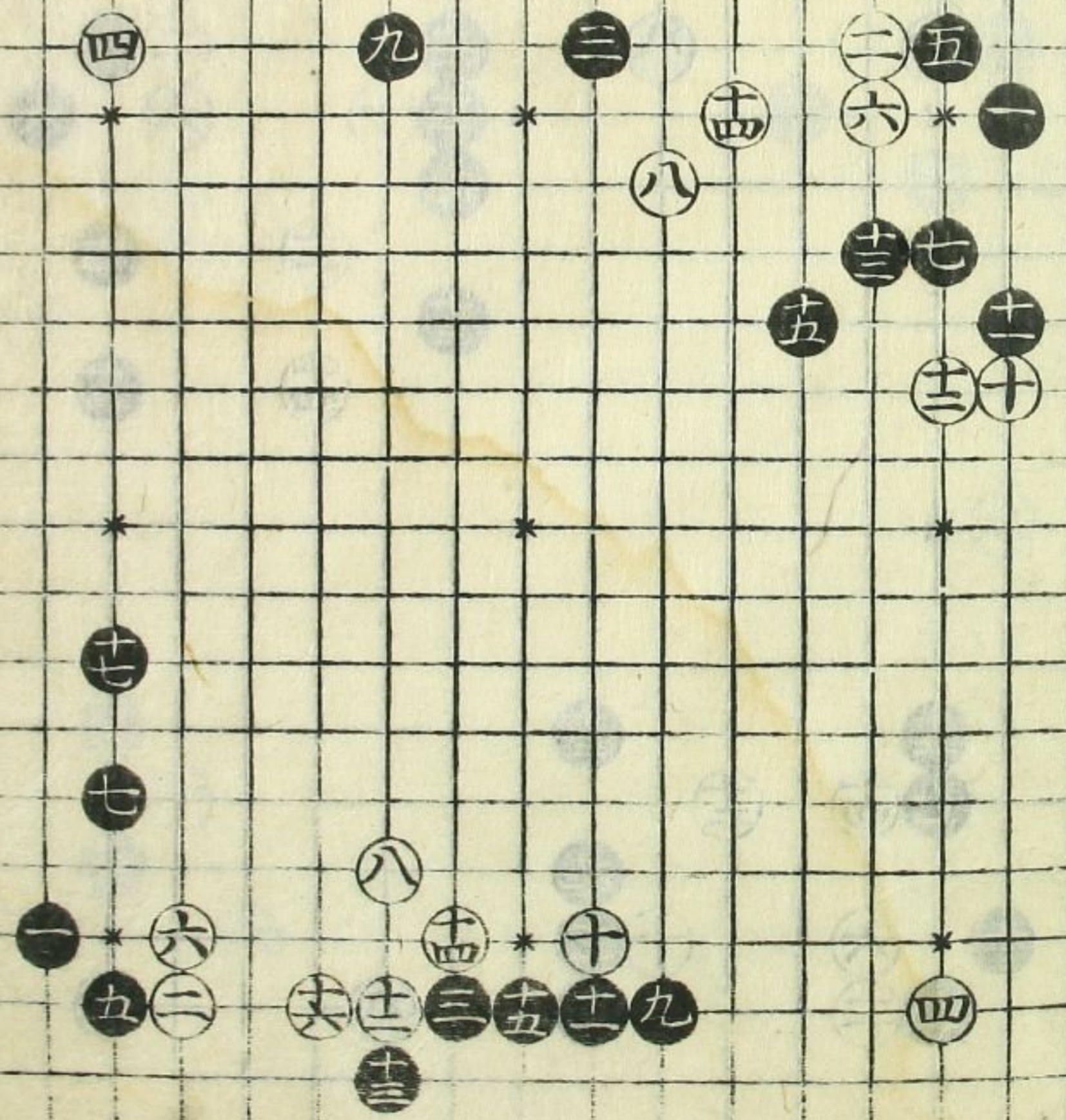
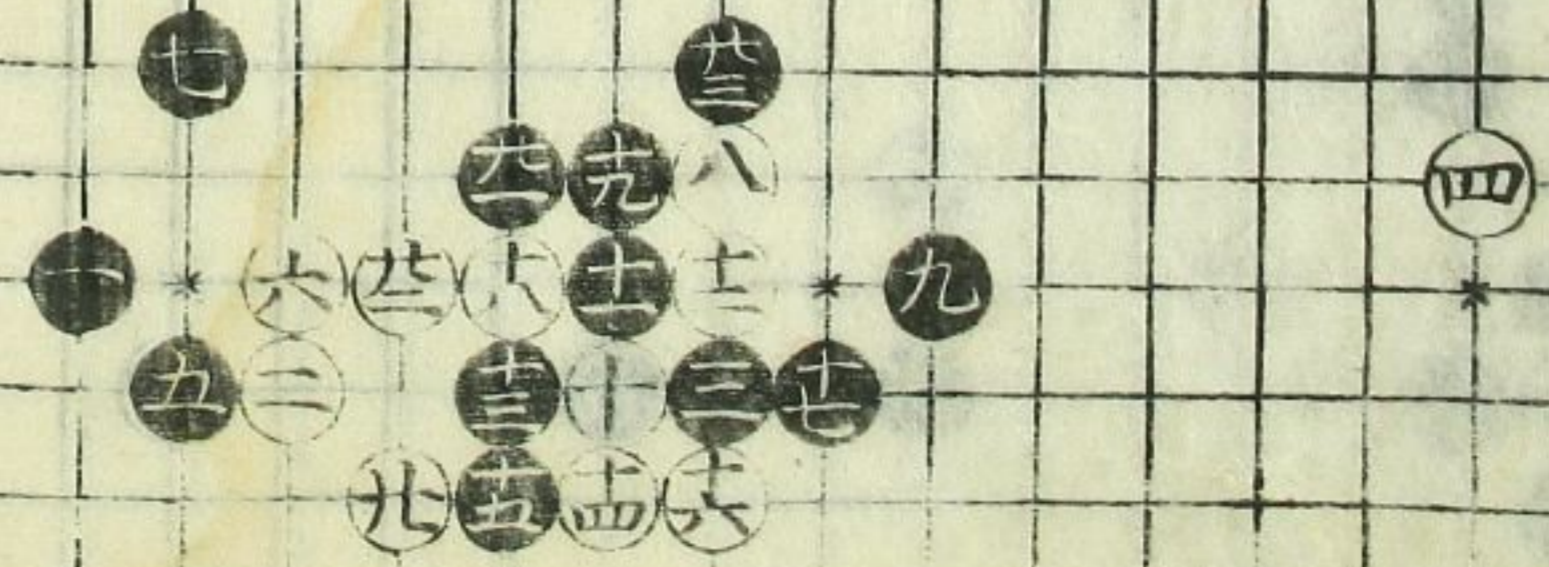
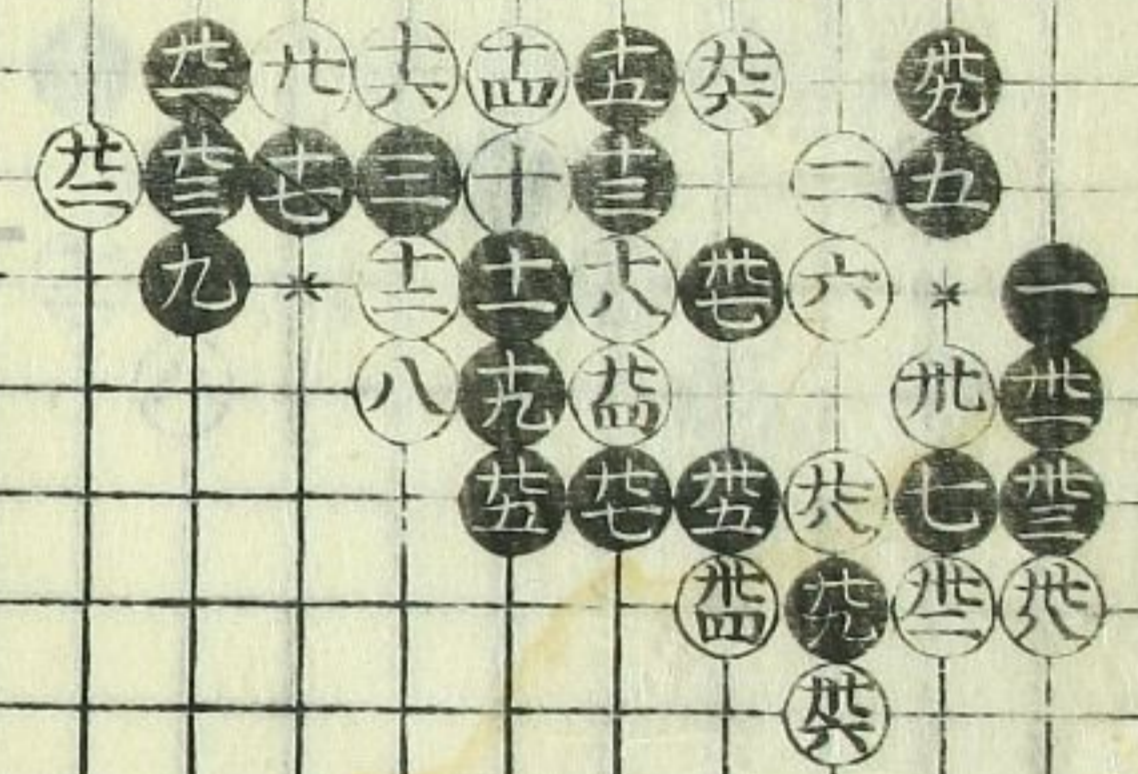
碁ノ石ノ集
卷ノ
五

此角黒ヨリ
 常ハ不好白ヨ
 リ四ト打トキ
 ハト桂馬打
 モ有所ヨル
 へシ能ク見合
 打へシ

此角此ト押
 ウツフモアリ
 又如此もウ
 事一有り

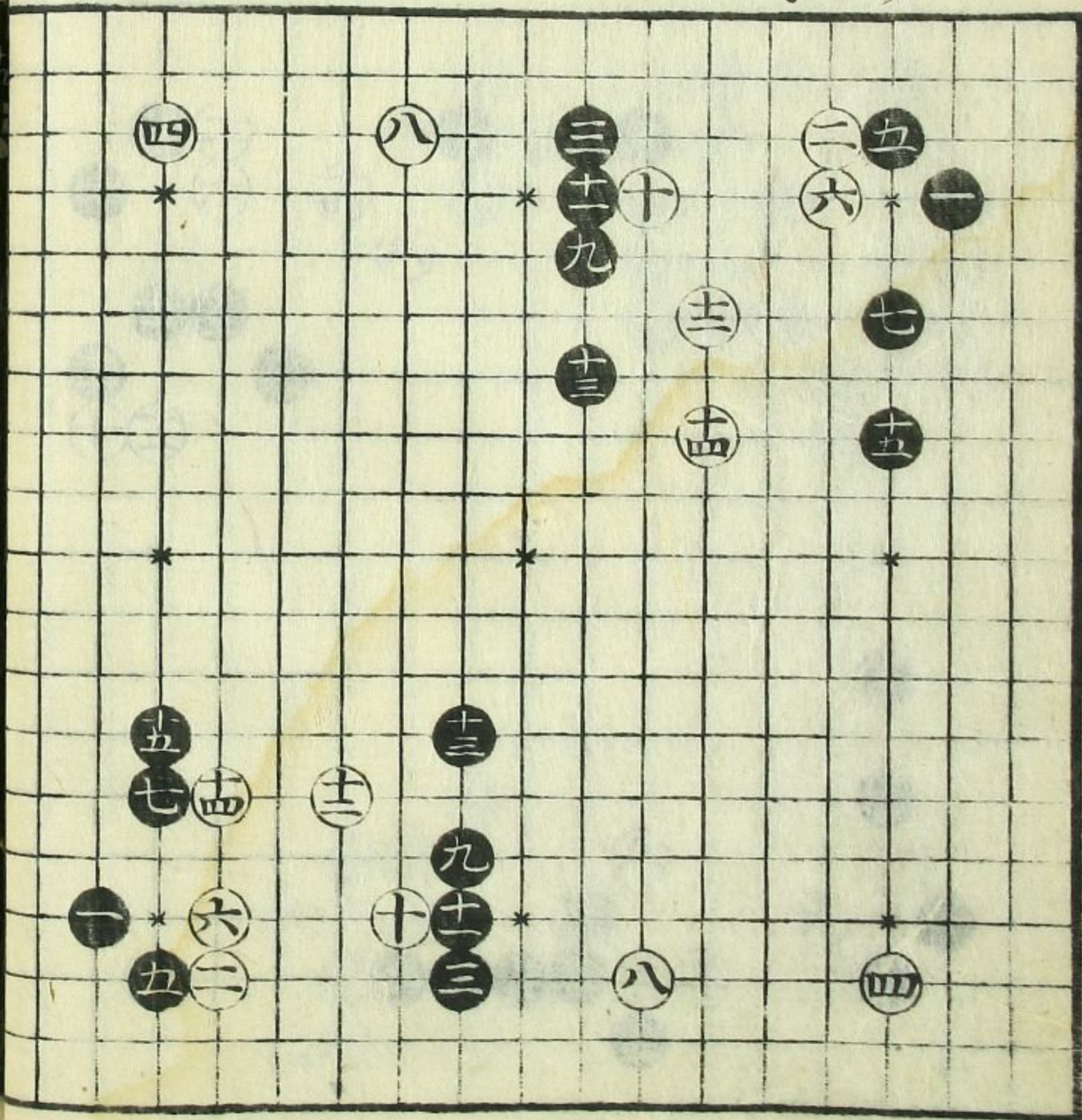
此スミトウ
 トキト付
 十三ト付
 五ト打事吉
 シ

此角白如是
 七マリタル時
 十七ト可打



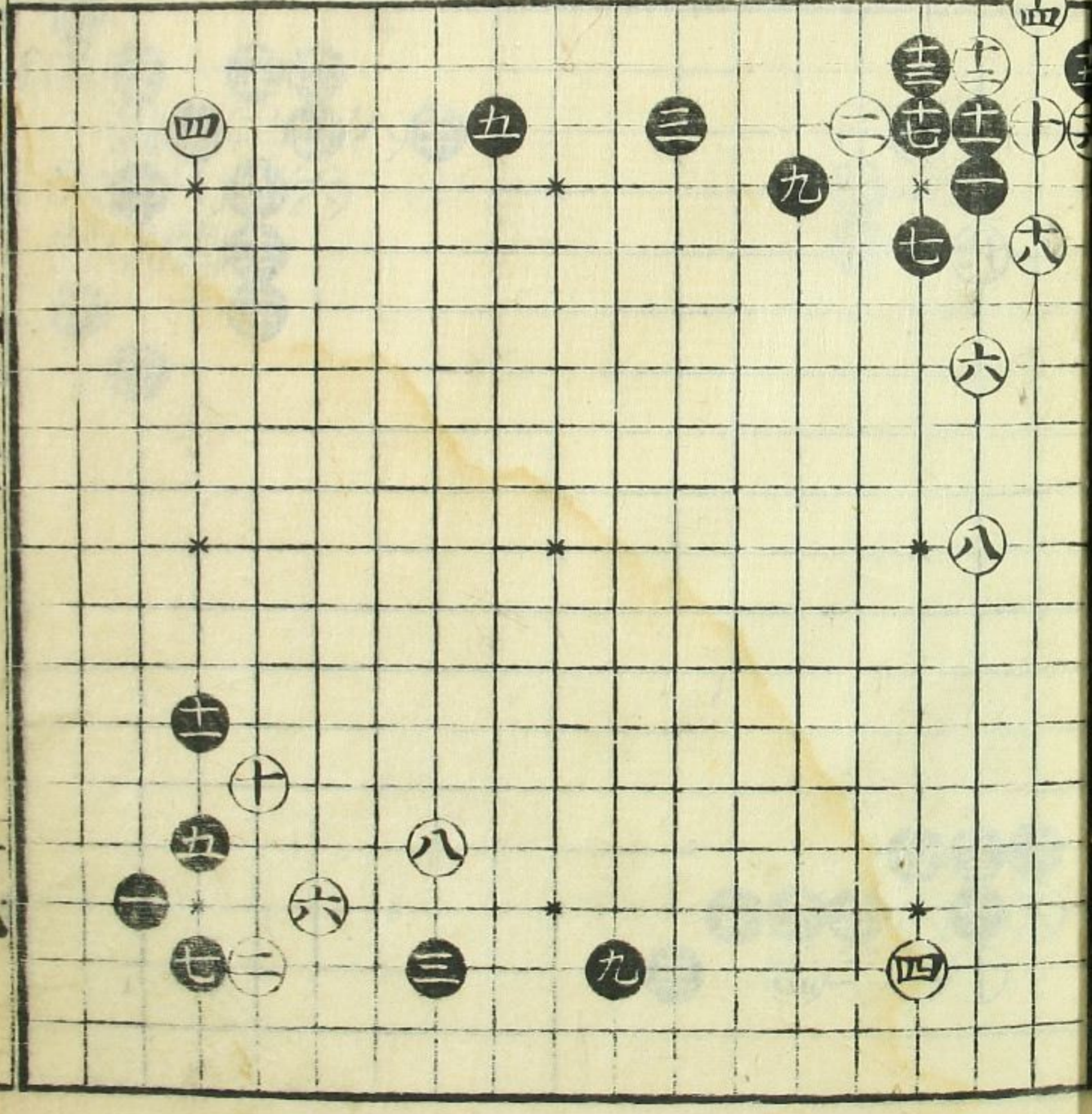
此角八ト九ヨリ
ツメテ打テモ
アリ如是打
ヘシ

此スミ十四ト
付ルトキ十
五トノヒルキ



此角二間挾定
石ナリ是ニ間
分モノコトク下
挾ム時其所ヲ
不打外ヲ打
モアリモヨウニ
ヨリ直ニウツ
モアリ白トト
直ニ打事悪シ
碁中過隙ヲ
見合可打

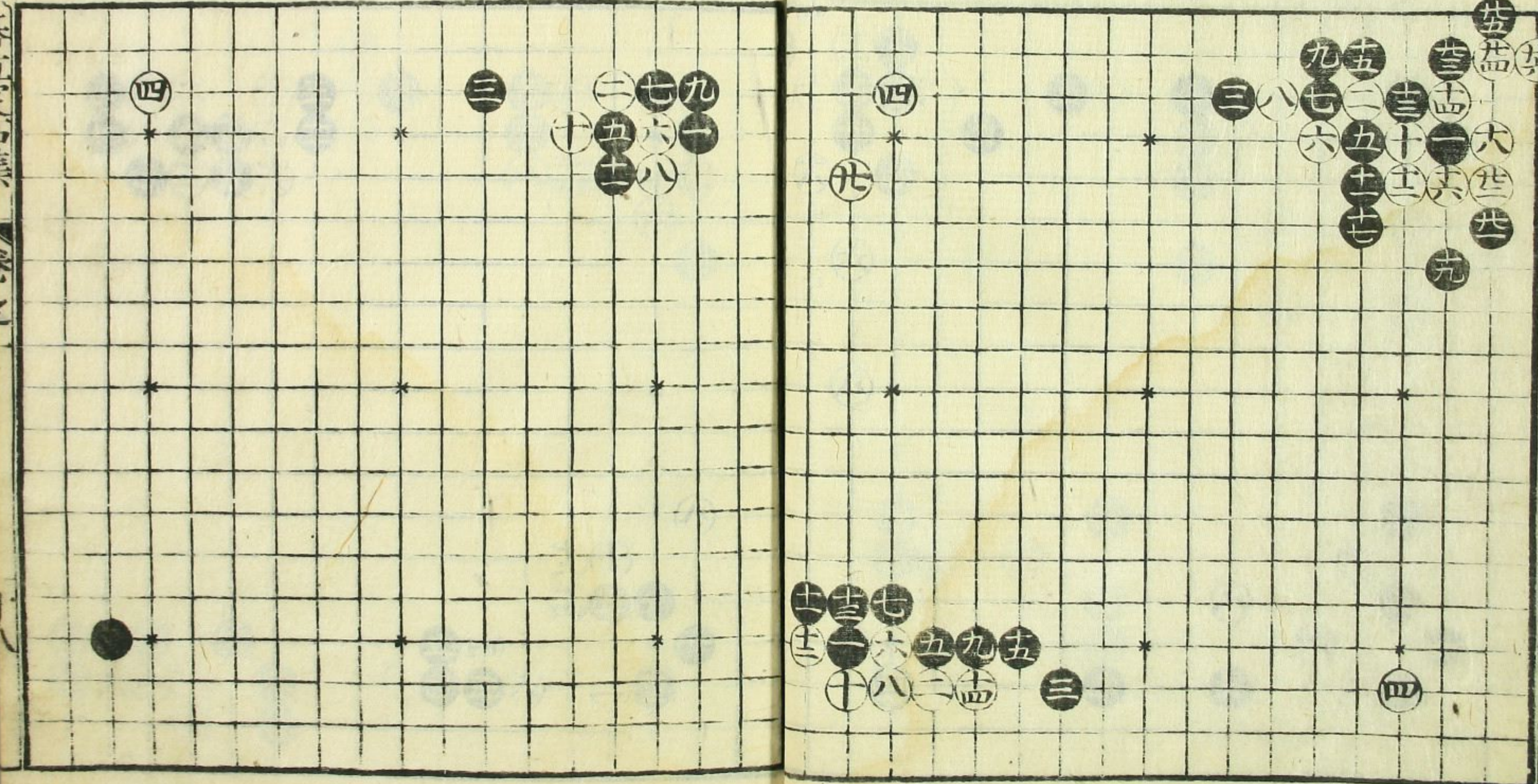
此角五トヌム
トキ六ト出ル
モ吉シ



此角黒ノ方
位少ヨシ

此又之六トハ
子コム手吉
同位也

此角印ノア
夕リニ黒有
時ハ六トハ子コ
ム手無理也



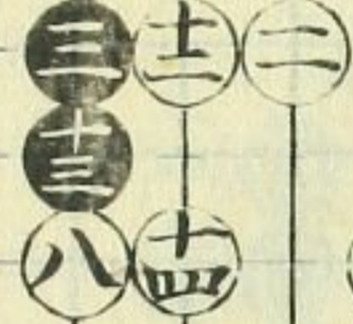
碁石傳 卷之

此角黒ノ之、
九ノ手十三ノ所
工ノヒ凡吉シ

共スヒ四ト打手
處ニ寄面白
口傳也

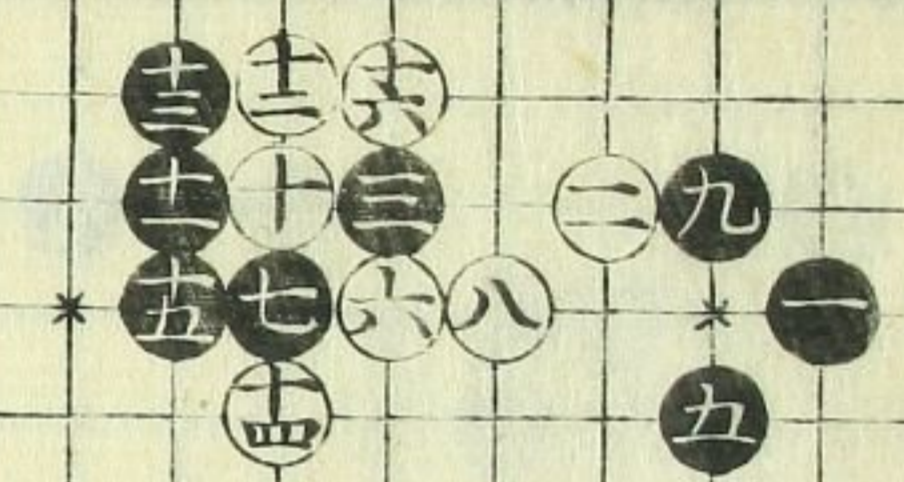
此角一間扶定
石是ト三下枝
時多々外ヲ
打リテ併
一間扶ニ如此
能打事故ニ
印置也

此角四ト下テシ
テ打時色々
打ヤウアリ
委末ニ出置



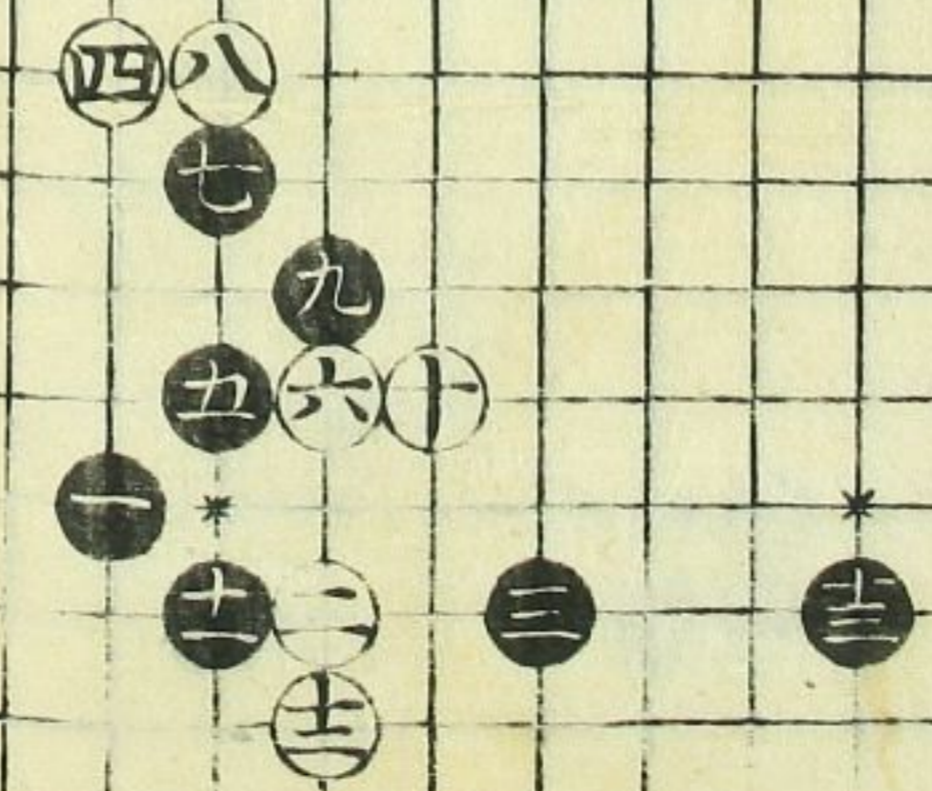
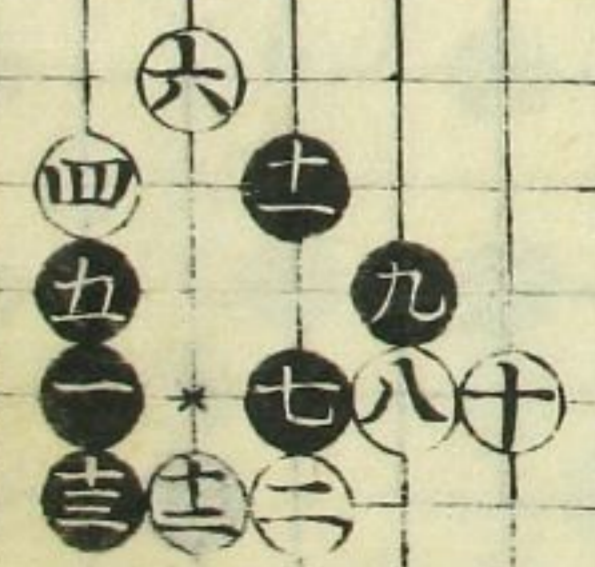
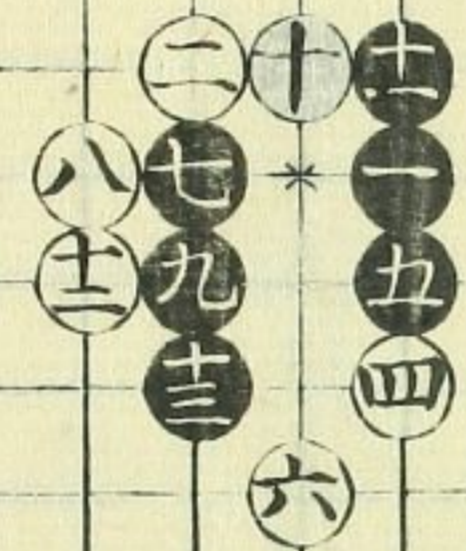
此角如是打
所ニヨリ面白シ

此スミマツ名
アリ、所ニ寄
ナリ



此角四ト迄ク
ウツ時ハヒト
フキアタル吉シ

此角九トハ子ル
七處ニ寄吉シ



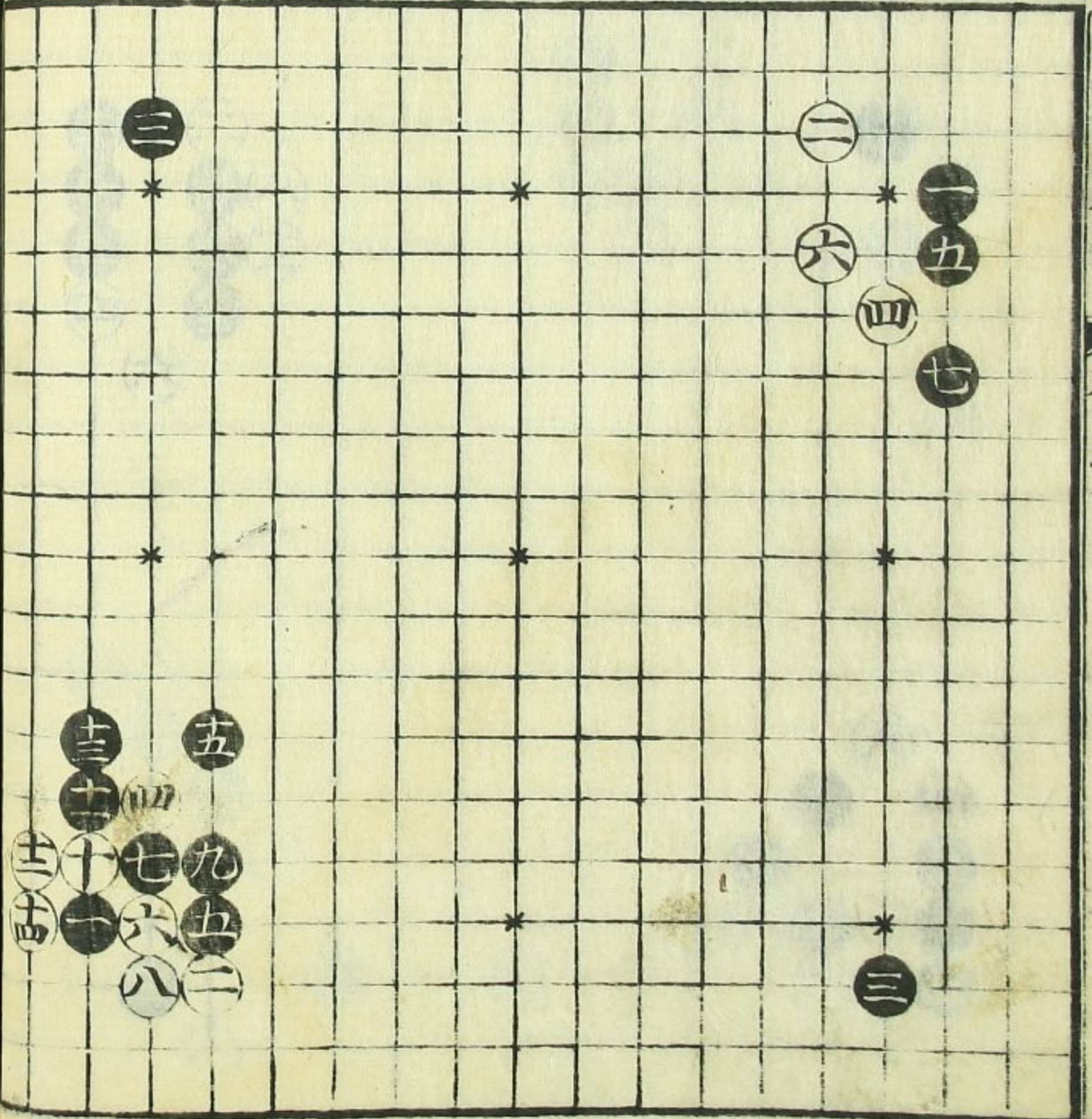
碁山定石集

碁山定石集

九

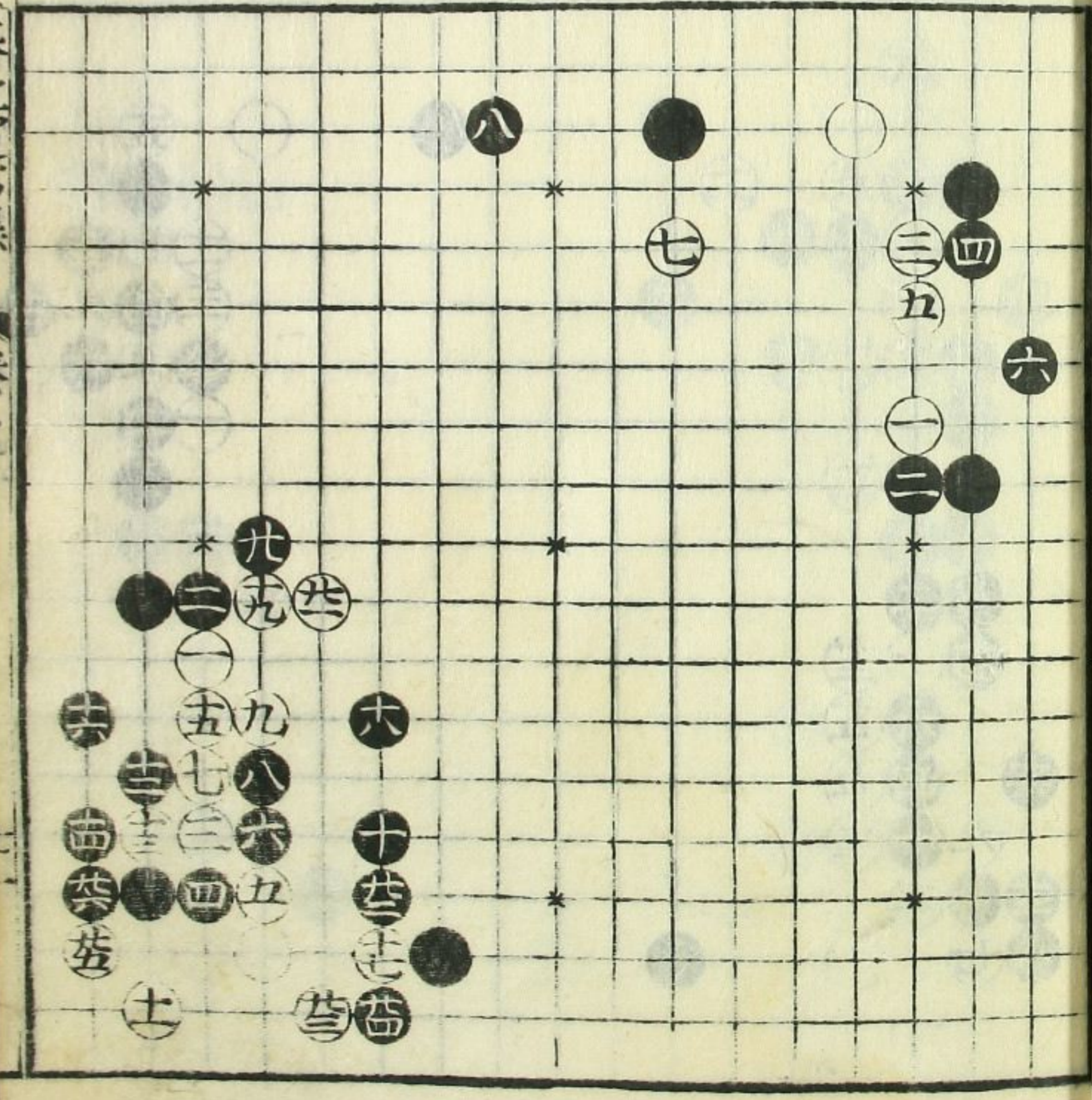
此角四トウツ時
五トウツト
言

此スミ黒悪
ツナリ



此角如此白黒
有時黒ノ間ノ
長短ニテ色々
打方アリ委
末ニ出シテク
可考事口
傳也

此角六ト切ル
トキタカイニ
色々ウキヤウ
アリ

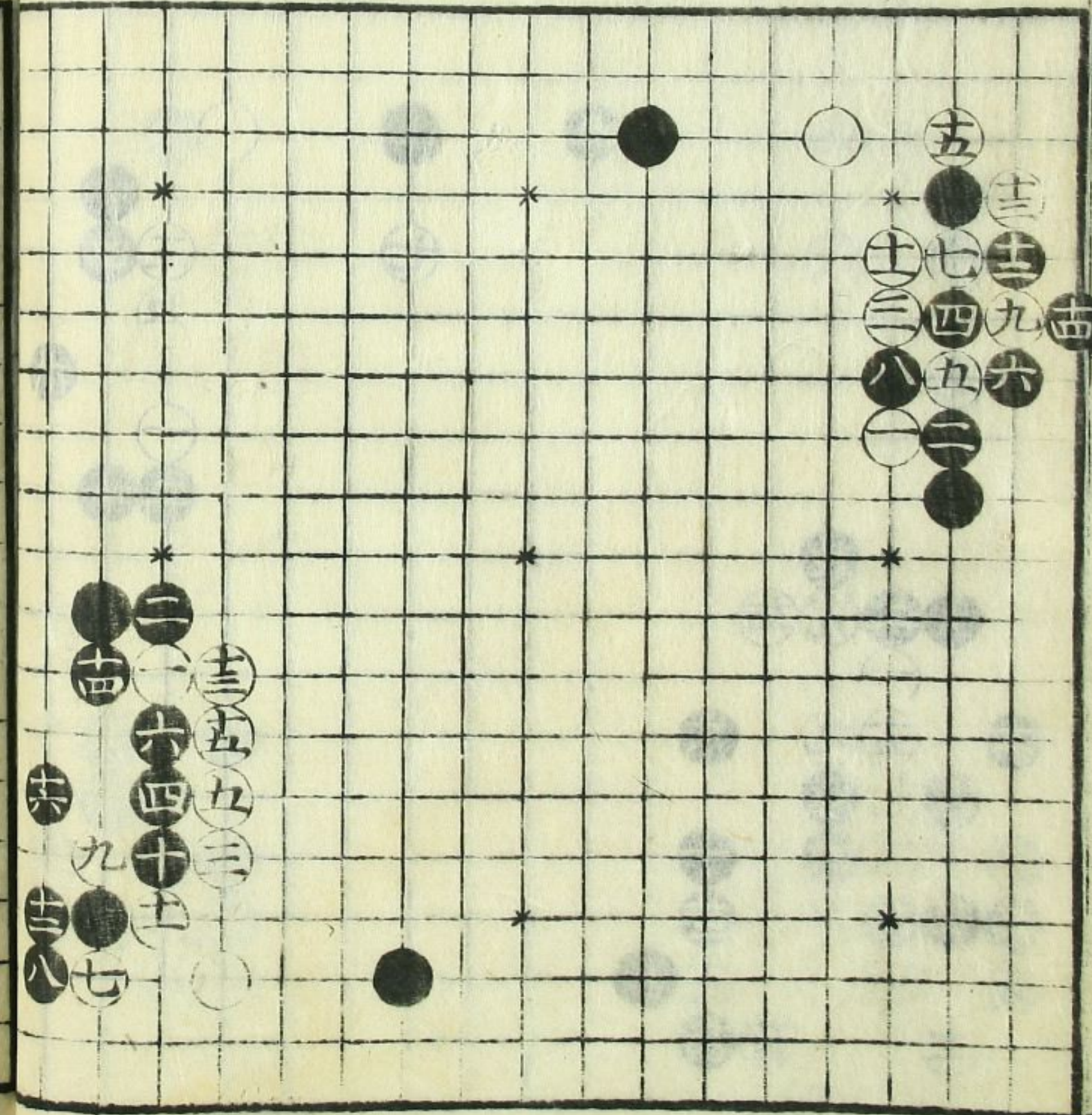


碁
石
集
卷
之

十トフク

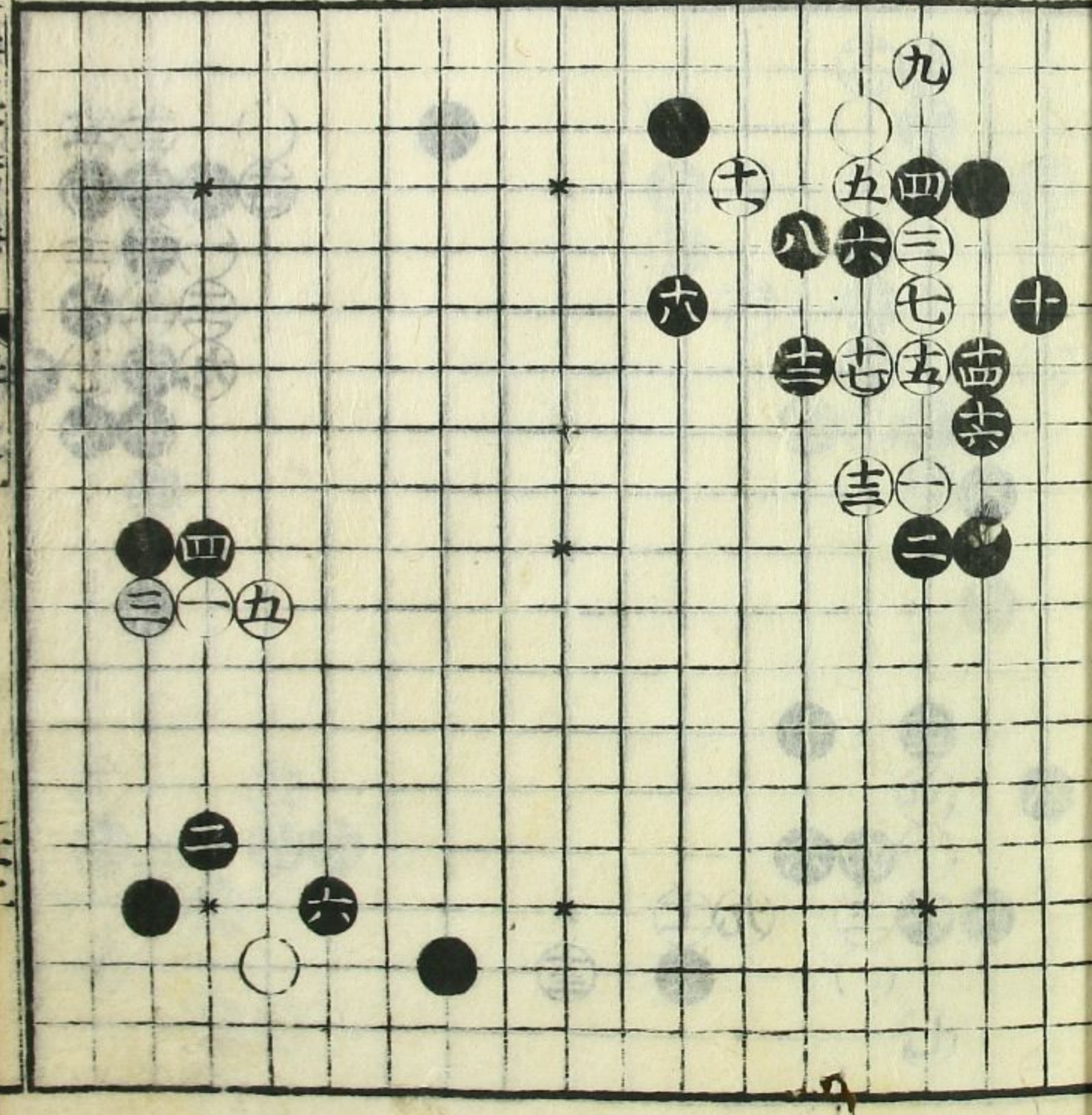
此角ニト下ヨリ
押トキニト一
間飛吉シ

此スニ三ト直ニ
一間飛事アリ
如斯可打



此スニ黒ノ間
一ケ遠シ能ク
心ヲ付可打

此角如斯ク
ワコトモ吉シ



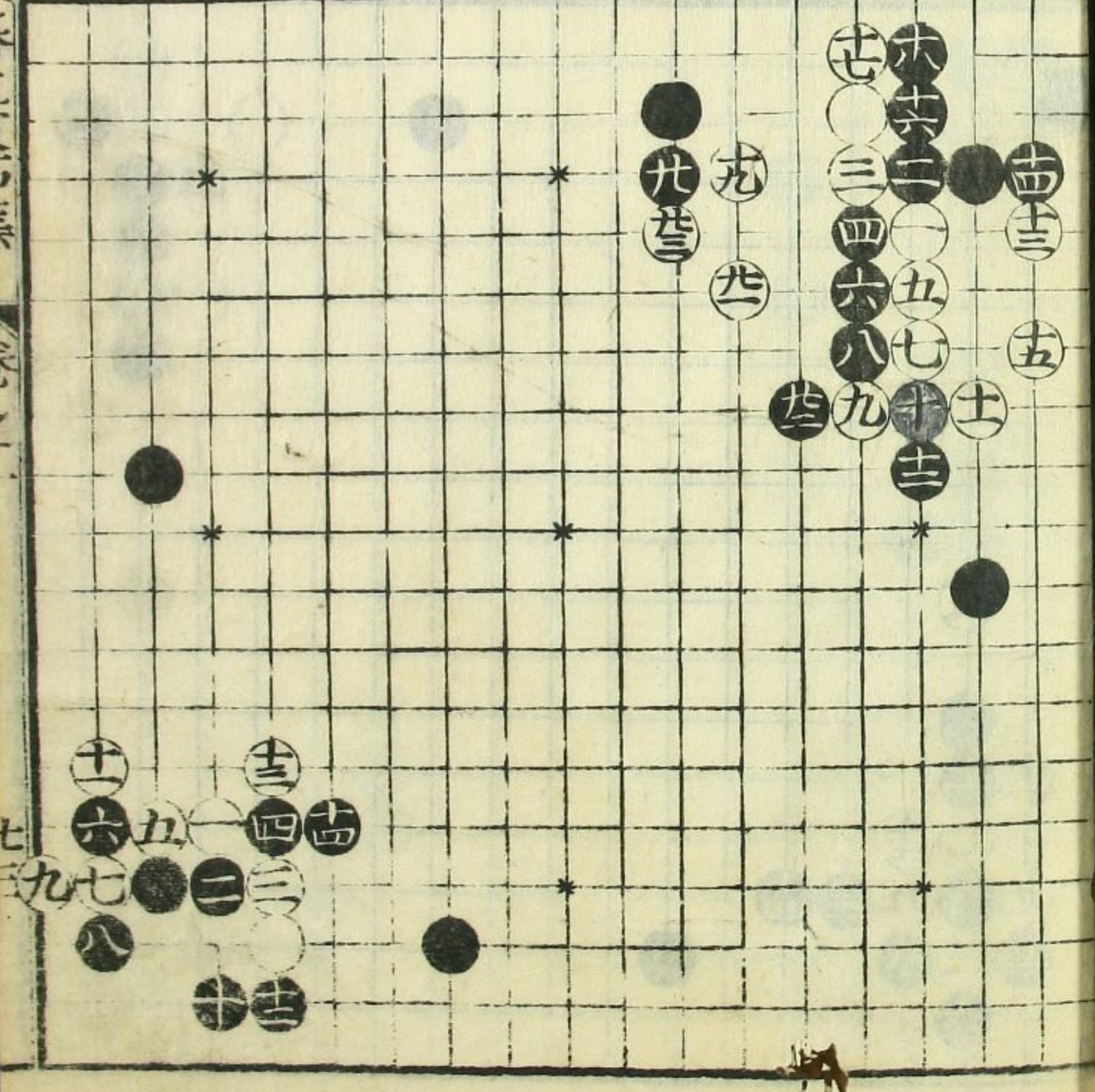
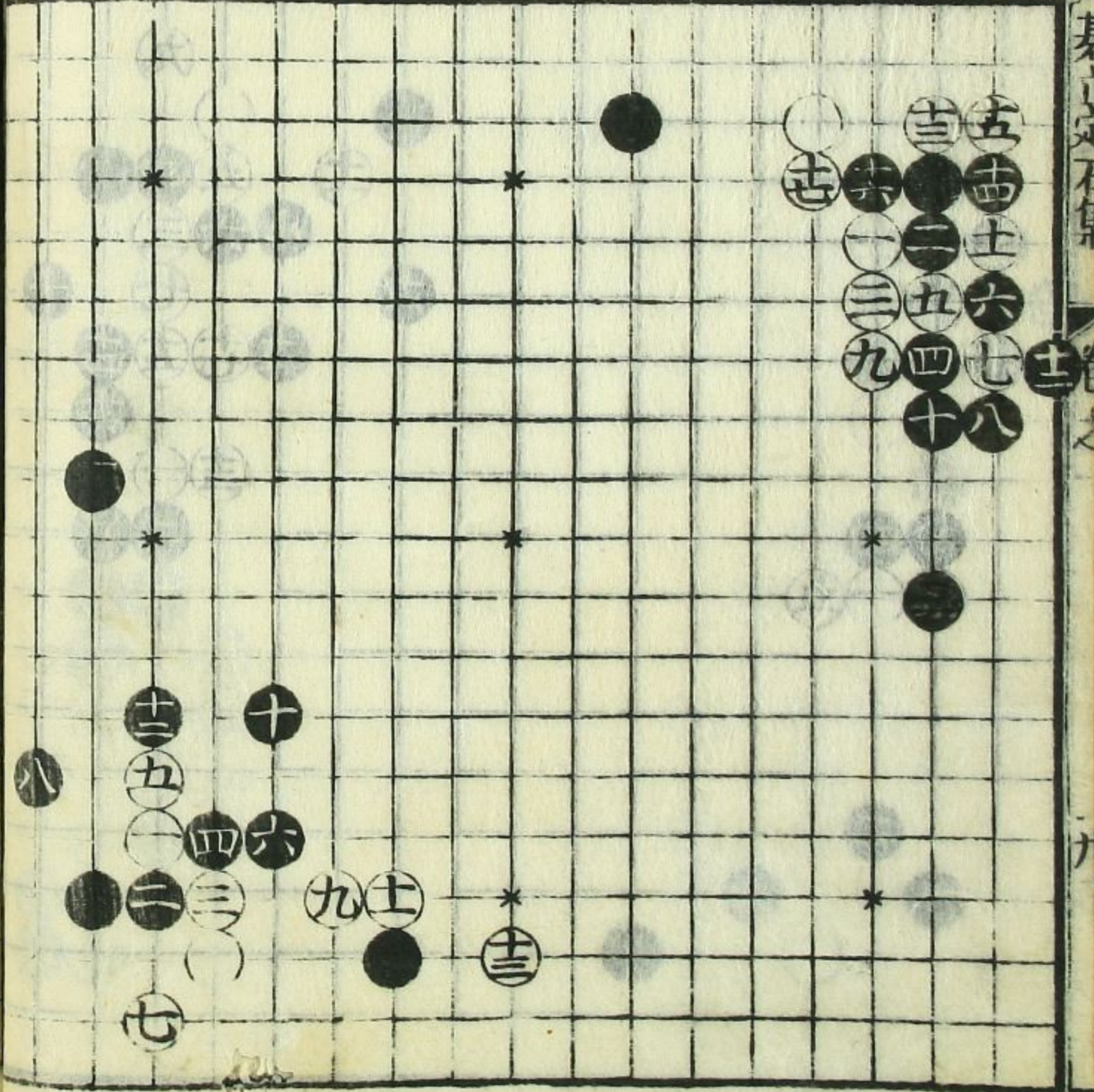
碁定集
卷之
九

此角黒ノアヒダ
 又一間遠之故
 一ト直ニ懸ル常ハ
 此石立黒堅ク
 ナル工工白不好
 此所ニテハ黒カク
 過位アミ、白
 位吉ニ口傳

此又ニ四ト切ル
 更吉ニ同位也

此又ニムツカニ
 キ石立也能、
 心ヲ附可打

此角五ト押
 手常ハ不好
 所ニ可寄



碁石立石集

卷之七

七

Blank page with faint horizontal lines and a large circular stain at the top.

Handwritten marks at the bottom left, including a double-headed arrow and some illegible characters.

Table with a grid pattern and asterisks. The grid is approximately 18 columns wide and 12 rows high. Asterisks are placed at the intersections of the 2nd, 7th, and 12th columns and the 2nd, 7th, and 12th rows.

Vertical text on the right edge of the page, possibly a page number or title, written in a traditional East Asian script.

Small handwritten marks or characters at the bottom right corner of the page.

